

市民の声を施策に反映...

**「まちづくりネットモニター」
を実施しました**

令和元年 7 月 1 6 日

(ネットモニターに関すること)

郡山市政策開発部広聴広報課

担当：上田 利実 TEL：924-2061

(第 1 回調査内容に関すること)

郡山市政策開発部政策開発課

担当：猪股 秀行 TEL：924-2021

まちづくりネットモニター（第 1 回調査）の結果がまとまりました。

調査概要（詳細は別紙のとおり）

テーマ	SDGs（エスディー・ジーズ）の関心度について
目的	本市では、「SDGs 未来都市」に選定され、今後より一層積極的に SDGs の取り組みを推進するにあたり、市民の SDGs に関する意識を把握し、今後の施策に活かすため
期間	平成 31 年 4 月 17 日(水)～4 月 26 日(金)（10 日間）
回答方法	専用ウェブサイトによる回答
モニター数	360 名(男性 159 名 女性 201 名)
回答者数	337 名(男性 152 名 女性 185 名)（回答率：93.6%）
考察	<ul style="list-style-type: none"> SDGs という言葉自体を初めて聞いたという意見が多く、ウェブサイトを含め、周知に力を入れるべきという意見が多く見られた。 SDGs について個人が取り組むにはハードルが高いという意見もみられ、SDGs の達成に向け、「分かりやすいセミナーの開催」を求める意見が多かった。 SDGs について、「学校で積極的に教えてほしい」が 35%、「学校で概要程度教えてほしい」が 50.1%と、学校への期待が高かった。 SDGs の達成のためには、個人単位での理解や協力が不可欠と考えられるため、SDGs の考え方を理解する機会をより多く設け、普及啓発に努めていくことが必要である。

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取り組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々にご協力をいただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。今回は、2019 年度第 1 回目の調査となります。

2019年度まちづくりネットモニター第1回調査結果 テーマ「SDGs（エスディージーズ）の関心度について」

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を集めた言葉で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれています。

2015年に国連で採択された2016年から2030年までの国際的な目標で、「持続可能な世界」を実現するための17のゴールと169の具体的なターゲットからなります。

郡山市でも、まちづくりの方向性をまとめた「郡山市まちづくり基本指針」の「第二次実施計画」にSDGsのゴールを位置づけ、内閣総理大臣を本部長とするSDGs推進本部が実施する「SDGs未来都市」に選定され、より一層積極的にSDGsの取り組みを推進しています。

今回のネットモニターでは、SDGsについて皆さんの関心度や今後の取り組みについて参考とさせていただくため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

調査概要

- 調査期間 平成31年4月17日(水)～4月26日(金) (10日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を送信する。
- モニター数 360名 (男性 159名 女性 201名)
- 回答者数 337名 (男性 152名 女性 185名)
- 回答率 93.6%

【分析】

《回答者内訳(人)》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	6	4	15	34	29	22	35	7	152
女性	3	10	48	74	35	13	2		185
合計	9	14	63	108	64	35	37	7	337

《SDGsの認知度》

24.6% (83人) は知っている又は聞いた事がある、75.4% (254人) は全く知らないと回答

《SDGsの関心度》

35.7% (120人) は関心がある、33.5% (113人) が関心がない、30.8% (104人) がわからないと回答

《SDGsの周知に効果的だと思われる媒体について》

20.4%が市の広報、18.5%がテレビ、16.2%が新聞、16.1%がSNSと回答

《特に大切だと思う目標について》

「③すべての人に健康と福祉を」が最も多く回答 (11.3%)

「⑩住み続けられるまちづくりを」が次に多く回答 (10.5%)

《市に取り組んで欲しい目標について》

「⑩住み続けられるまちづくりを」が最も多く回答 (21.7%)

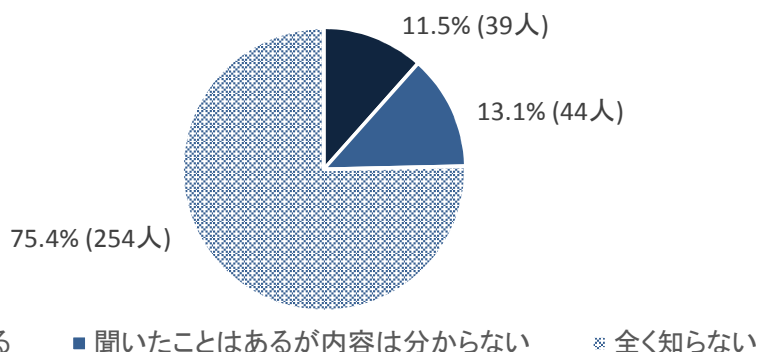
「④質の高い教育をみんなに」が次に多く回答 (12.6%)

【考察】

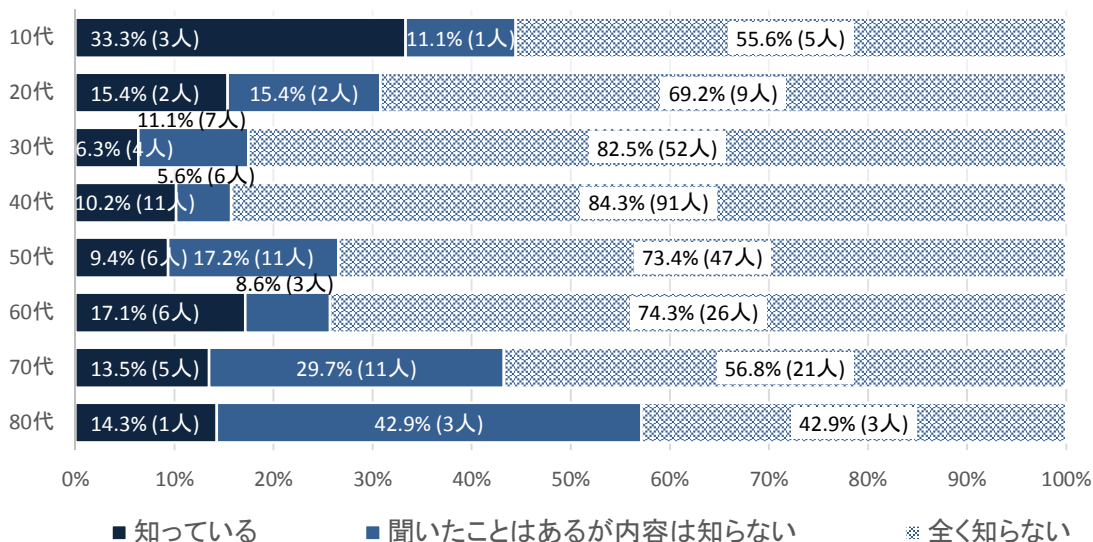
- SDGsという言葉自体を初めて聞いたという意見が多く、ウェブサイトを含め、周知に力を入れるべきという意見が多く見られた。
- SDGsについて個人が取り組むにはハードルが高いという意見もみられ、SDGsの達成に向け、「分かりやすいセミナーの開催」を求める意見が多かった。
- SDGsについて、「学校で積極的に教えてほしい」が35%、「学校で概要程度教えてほしい」が50.1%と、学校への期待が高かった。
- SDGsの達成のためには、個人単位での理解や協力が不可欠と考えられるため、SDGsの考え方を理解する機会をより多く設け、普及啓発に努めていくことが必要である。

第1章 SDGsの認知度について

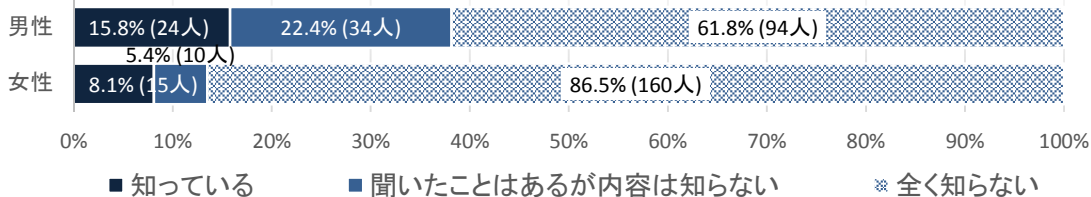
問1 SDGs（エスディージーズ）を知っていますか？（1つ選択）（回答者：337人）



年代別

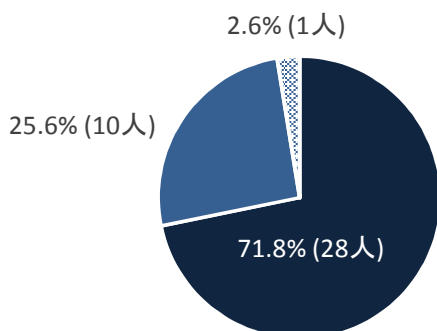


性別



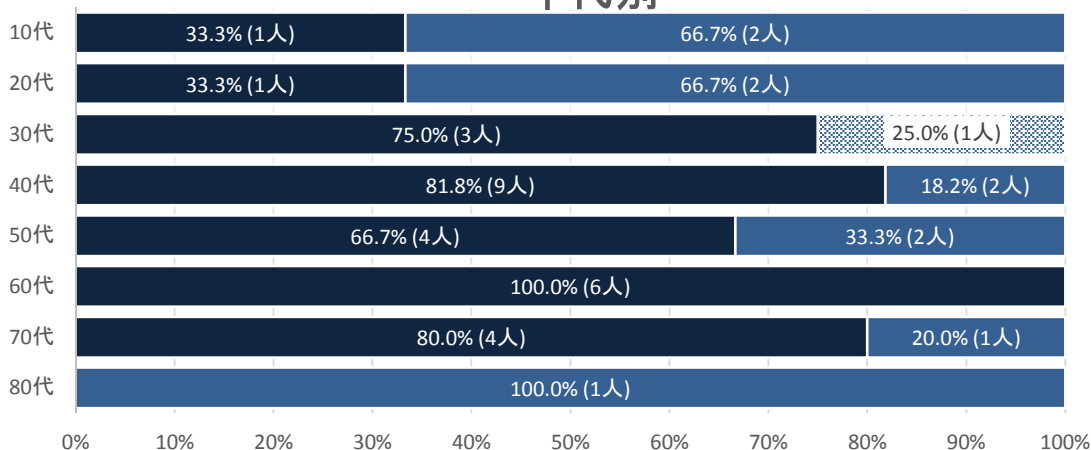
SDGsの認知度について、全体の75.4%が全く知らないと回答。
 年代別では、10代の認知度が33.3%で最も高く、30代の認知度が6.3%で最も低い。全く知らない割合が高いのは40代で84.3%であり、次に30代が82.5%で高く、働き盛り世代の認知度が低い。
 性別では、男性の認知度が女性より7.7ポイント高い。

問2 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。
 2015年に国連で採択された国連のSDGsの取り組みを知っていますか？
 (1つ選択) (回答者：39人)



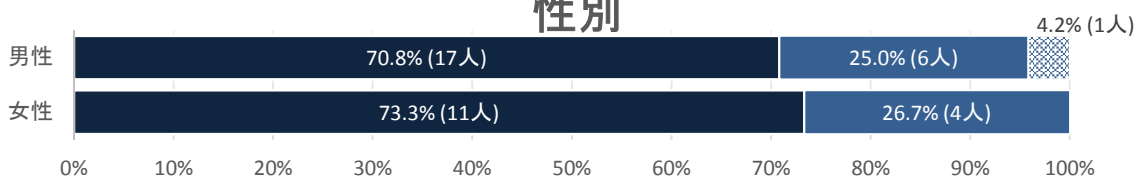
■ 知っている ■ 聞いたことがあるが内容は知らない ※ 全く分からない

年代別



■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ※ 全く知らない

性別

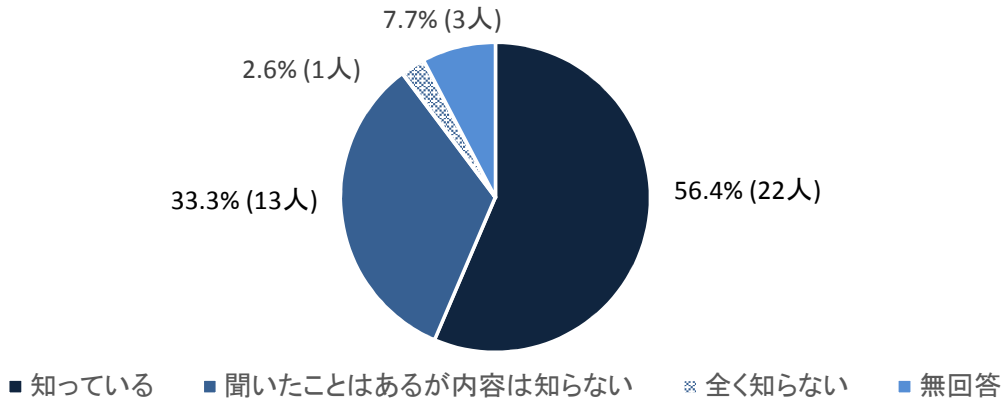


■ 知っている ■ 聞いたことはあるが内容は知らない ※ 全く知らない

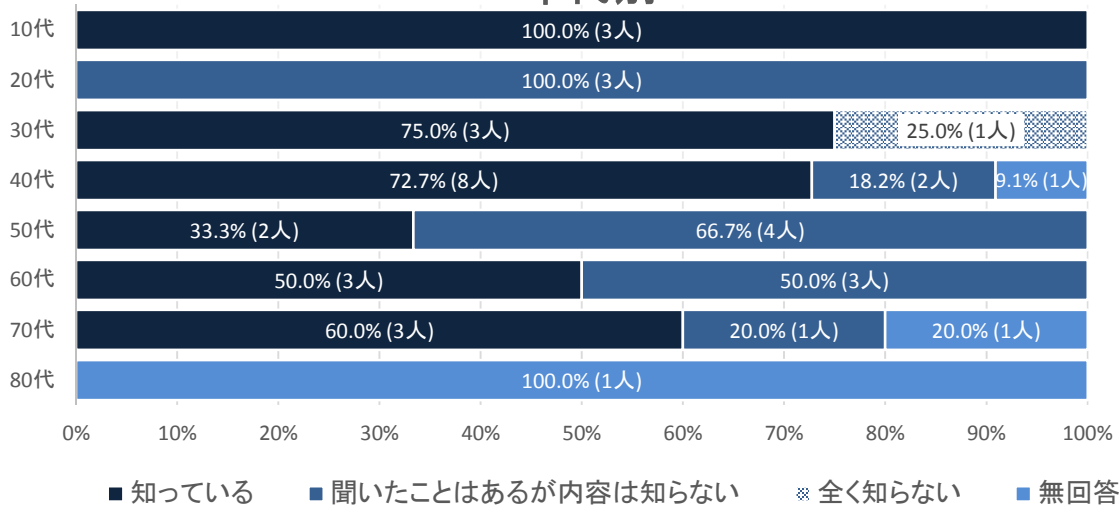
「知っている方」のうち「国連のSDGsの取り組みの認知度」について、年代別では、60代では100%の方が知っていると回答し、70代でも80%の方が知っていると回答。性別では、「知っている」で女性が男性より2.5ポイント高い。

問3 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。
 国(SDGs推進本部)で進めているSDGsの取り組みを知っていますか？
 (1つ選択)

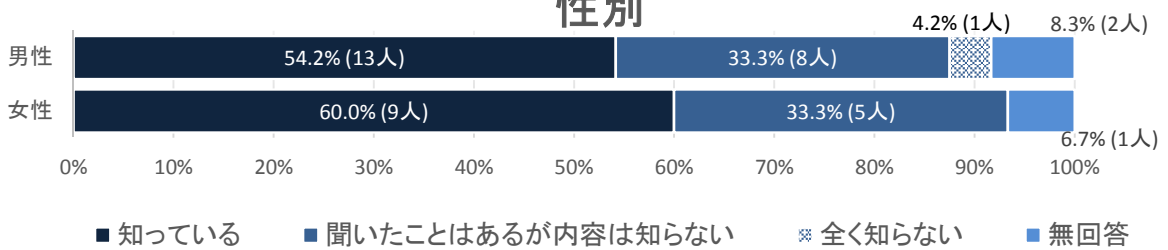
(回答者：39人)



年代別



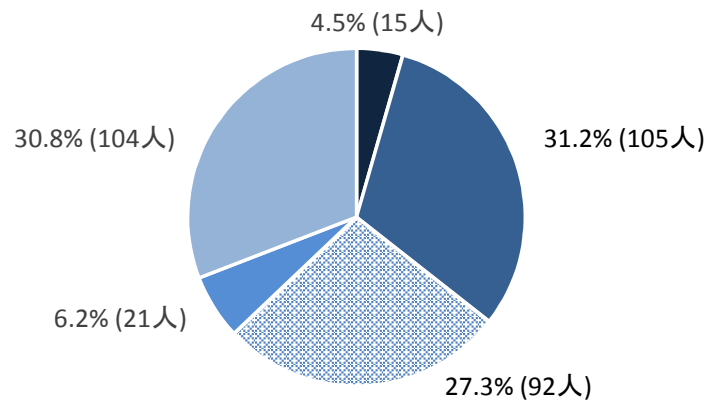
性別



「知っている方」のうち「国のSDGsの取り組みの認知度」について、年代別では、10代では100%の方が知っていると回答。80代の方は無回答。
 性別では、女性が男性より認知度の割合が5.8ポイント高い。

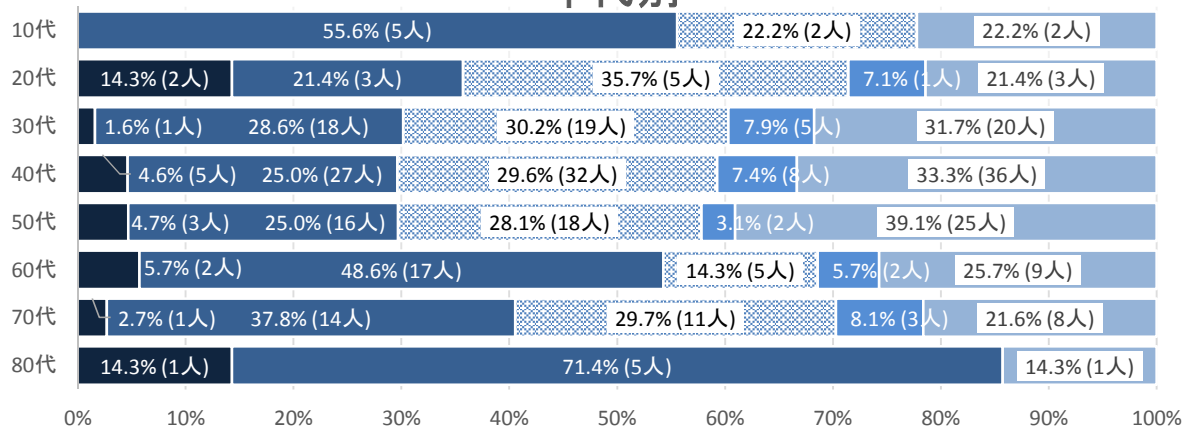
問4 SDGsについてどの程度関心がありますか？（1つ選択）

（回答者：337人）



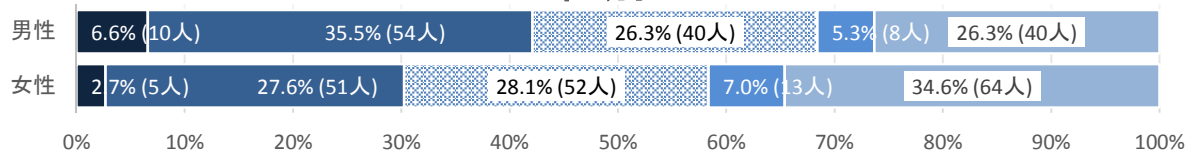
■ 非常に興味がある ■ 興味がある ※ あまり興味がない ■ 全く興味がない ■ 分からない

年代別



■ 非常に興味がある ■ 興味がある ※ あまり興味がない ■ 全く興味がない ■ 分からない

性別

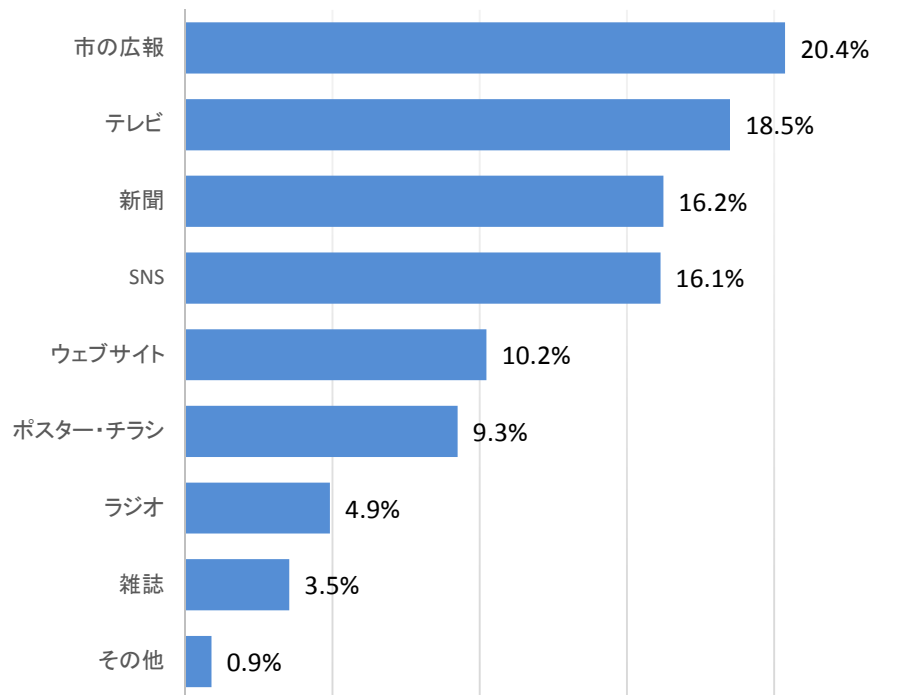


■ 非常に興味がある ■ 興味がある ※ あまり興味がない ■ 全く興味がない ■ 分からない

「SDGsの関心度合」について、年代別では、20代と80代が14.3%で最も高い。「非常に興味がある」「興味がある」あわせて、80代が85.7%と最も関心の高い年代である。性別では、男性が女性より「非常に興味がある」「興味がある」あわせて、11.8ポイント高い。

問5 SDGsを知らない方に対し、どのような媒体が効果的だと思いますか？
(3つまで選択)

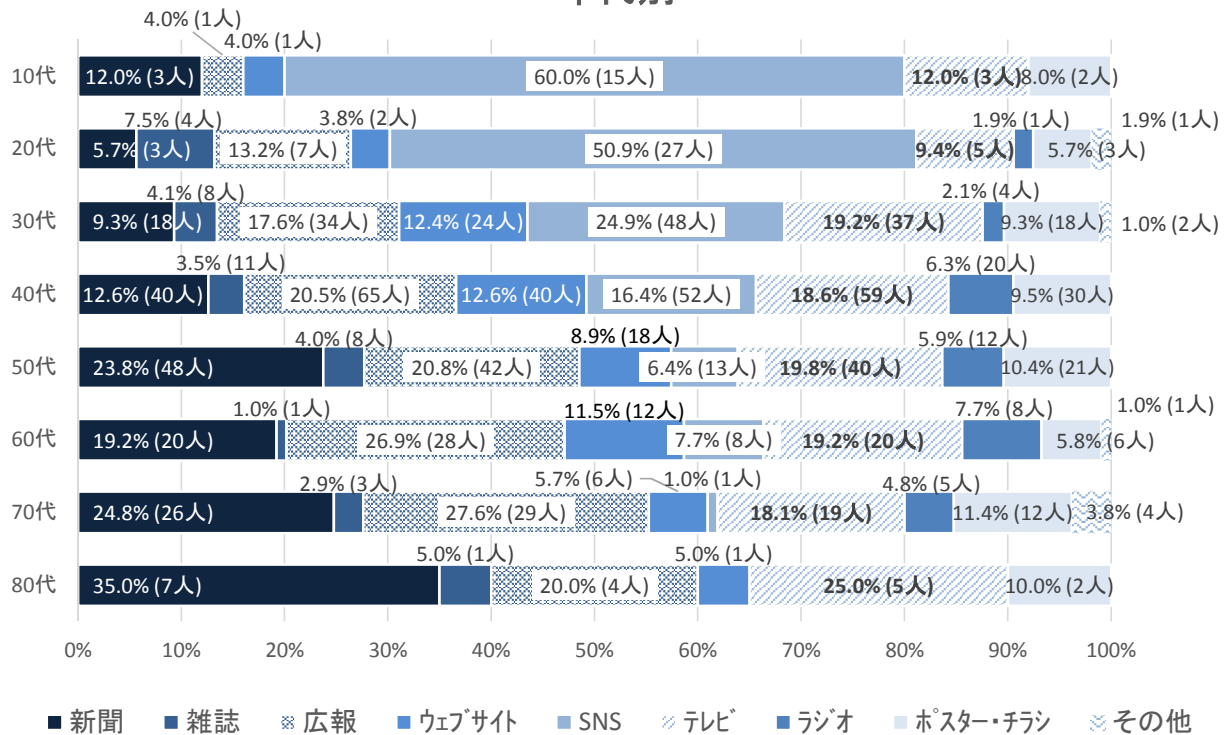
(回答者：337人)



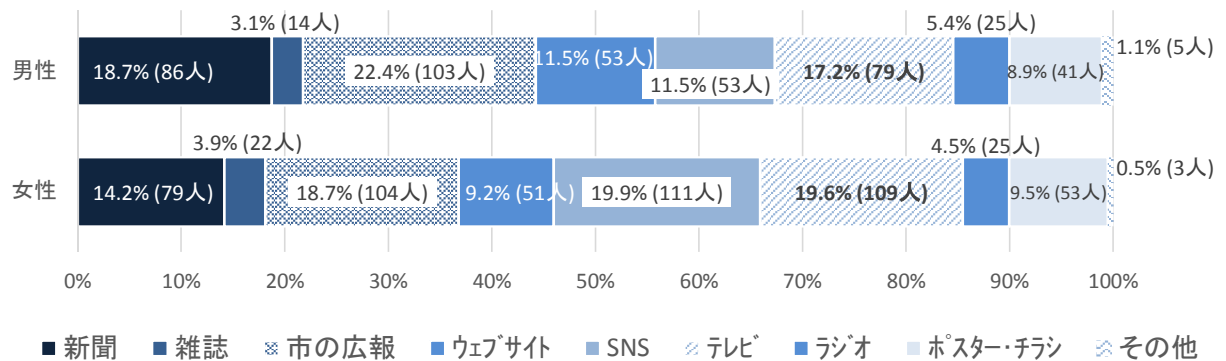
選択肢	回答数
市の広報	207
テレビ	188
新聞	165
SNS	164
ウェブサイト	104
ポスター・チラシ	94
ラジオ	50
雑誌	36
その他	8

計 1016

年代別



性別



※複数回答：1016を示す

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・学校や幼稚園などのお便りにはいっていただけると目を通すかも
- ・市のイベントや広報活動に合わせた情報発信が必要
- ・私は大学の環境化学の授業で知りました。
- ・イベントを開催する。
- ・推進する部門の設置が必要
- ・学校での取組が必要

効果的な媒体としては、「市の広報」が20.4%で最も高く、次に「テレビ」が18.5%と回答。

年代別では、「SNS」の割合が10代で60%、20代で50.9%と若い世代では「SNS」の割合が高い。20代では新聞の割合が5.7%で全世代で一番低く、年代を重ねるにつれて新聞の割合が高まり、80代では新聞の割合が35%と全世代で最も高い。

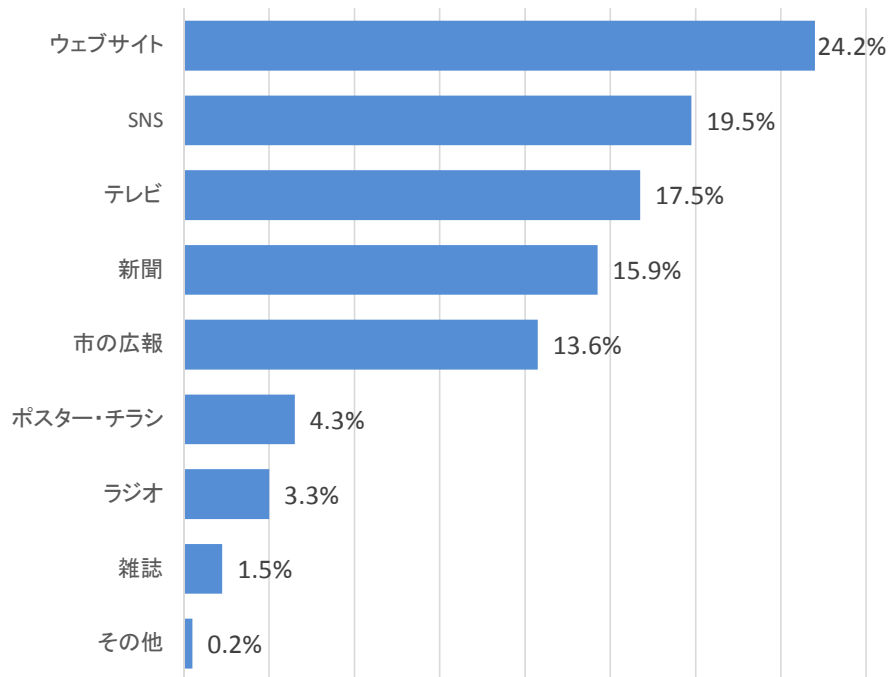
性別では、男性は「新聞」「市の広報」「ウェブサイト」「ラジオ」が効果的な媒体と考え、女性は「雑誌」「SNS」「テレビ」「ポスター・チラシ」が効果的な媒体と考えている。

問6

情報収集をする方法はどのような媒体が一番多いですか？（1つ選択）

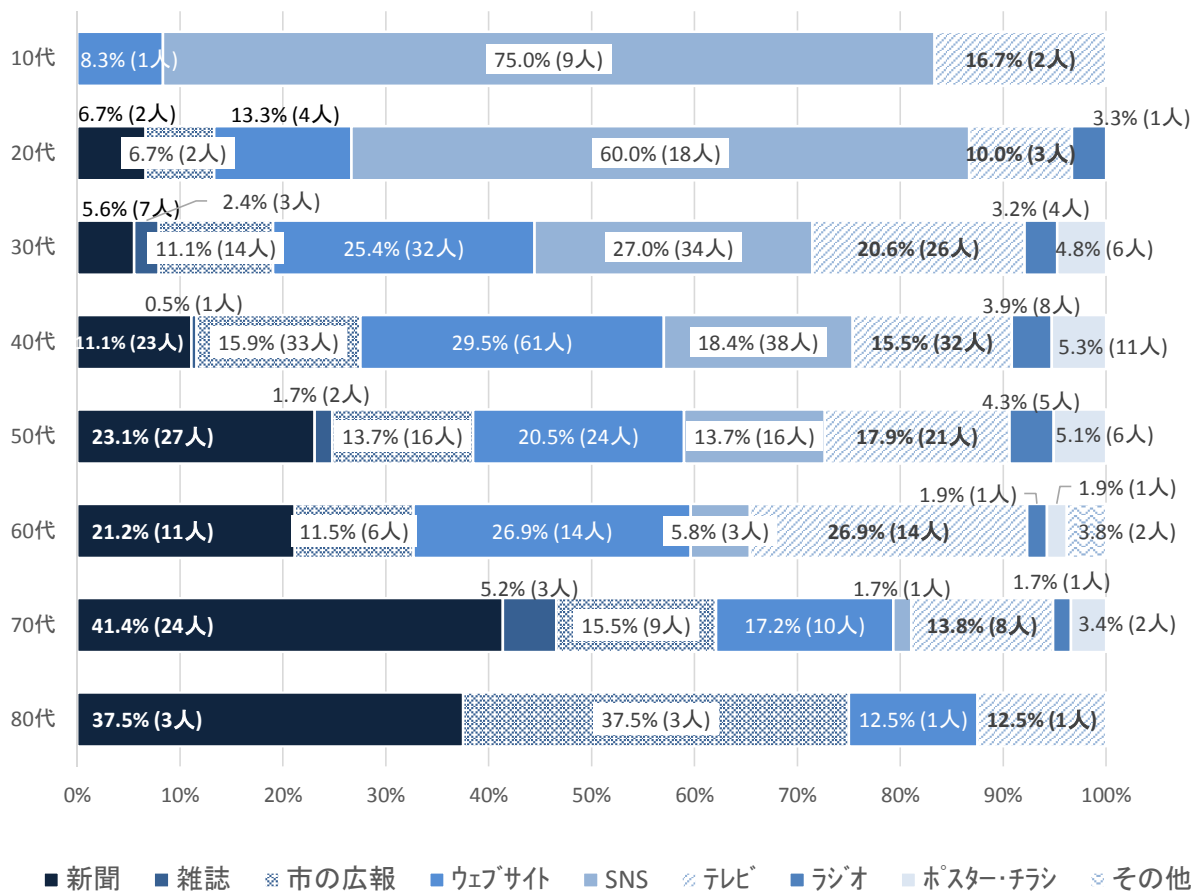
（回答者：337人）

※回答数611人のため、複数回答者多数と思われる

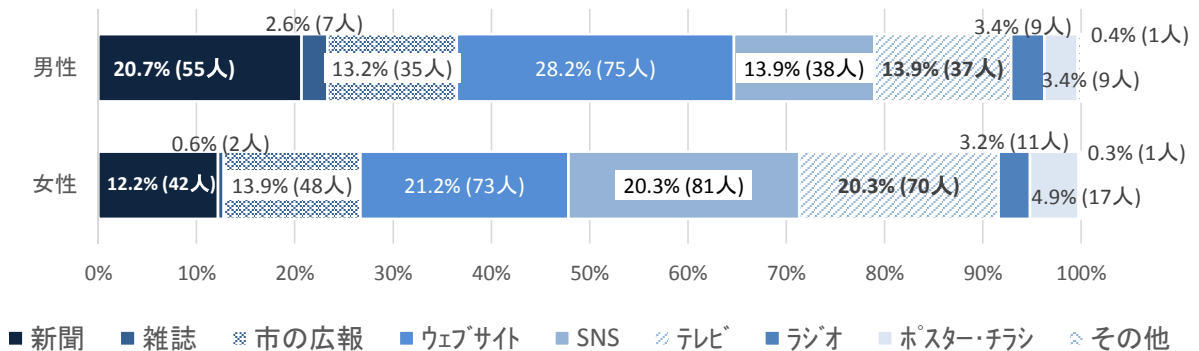


選択肢	回答数
ウェブサイト	148
SNS	119
テレビ	107
新聞	97
市の広報	83
ポスター・チラシ	26
ラジオ	20
雑誌	9
その他	2
計	611

年代別



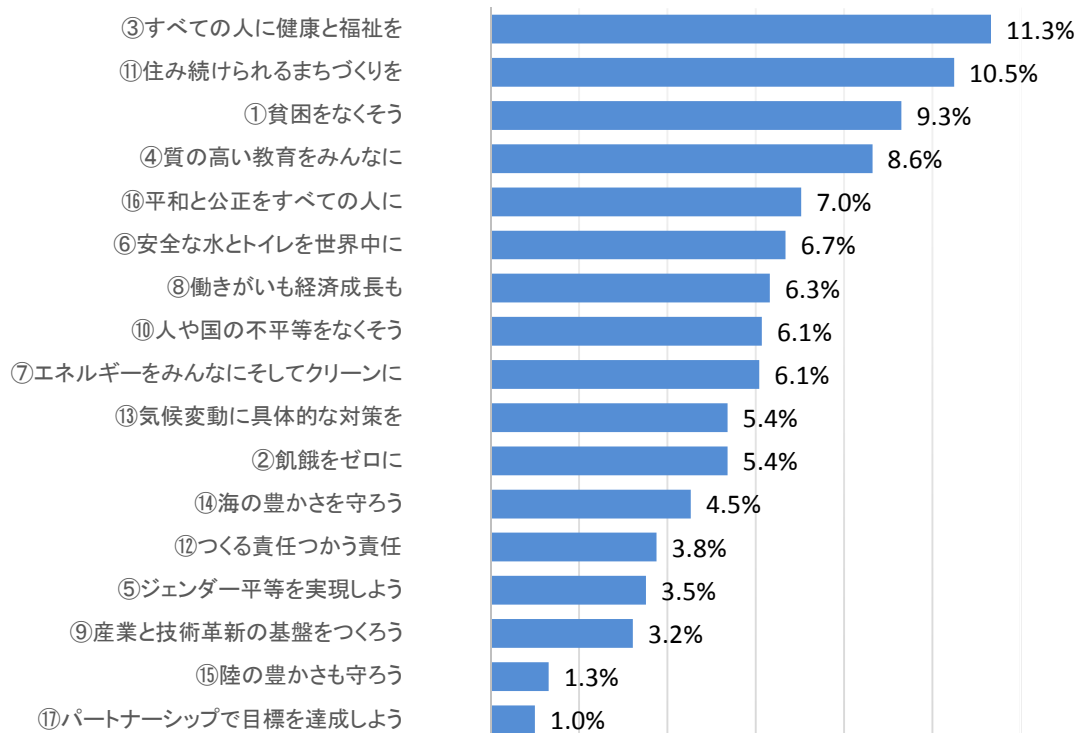
性別



※複数回答：611を示す

情報収集する媒体としては、「ウェブサイト」が24.2%で最も高く、次に「SNS」が19.5%と回答。
 年代別では、「SNS」が10代では75%、20代で60%と若い世代の割合が高い。「新聞」の割合が70代で41.4%と高く、80代では「新聞」と「市の広報」が37.5%で同じ割合である。
 性別では、男性は「新聞」「雑誌」「ウェブサイト」が効果的な媒体と考え、女性は「市の広報」「SNS」「テレビ」「ポスター・チラシ」が効果的な媒体と考えている。

問7 SDGsの17の目標のうち、特に大切だと思う（関心がある）目標はなんですか？（あてはまるもの全て選択）
（回答者：337人）

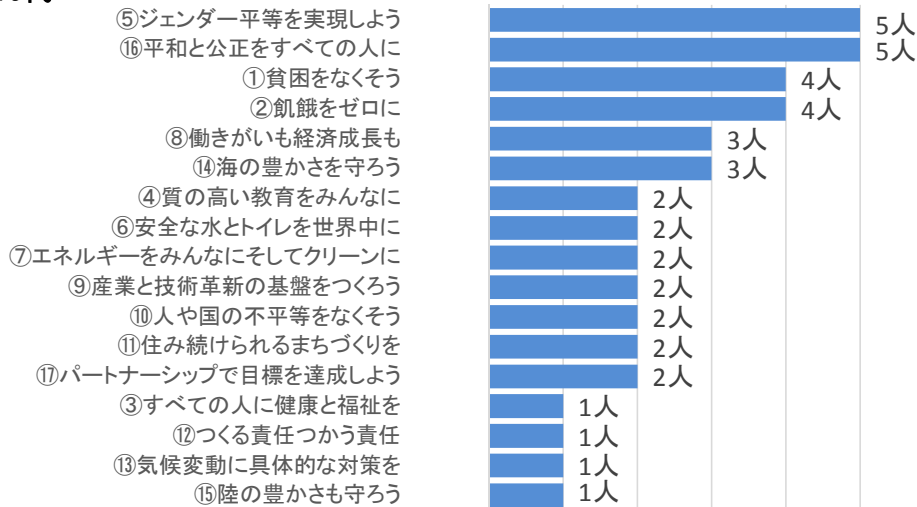


選択肢	回答数
③すべての人に健康と福祉を	190
⑪住み続けられるまちづくりを	176
①貧困をなくそう	156
④質の高い教育をみんなに	145
⑯平和と公正をすべての人に	118
⑥安全な水とトイレを世界中に	112
⑧働きがいも経済成長も	106
⑩人や国の不平等をなくそう	103
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	102
⑬気候変動に具体的な対策を	90
②飢餓をゼロに	90
⑭海の豊かさを守ろう	76
⑫つくる責任つかう責任	63
⑤ジェンダー平等を実現しよう	59
⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	54
⑮陸の豊かさを守ろう	22
⑰パートナーシップで目標を達成しよう	15

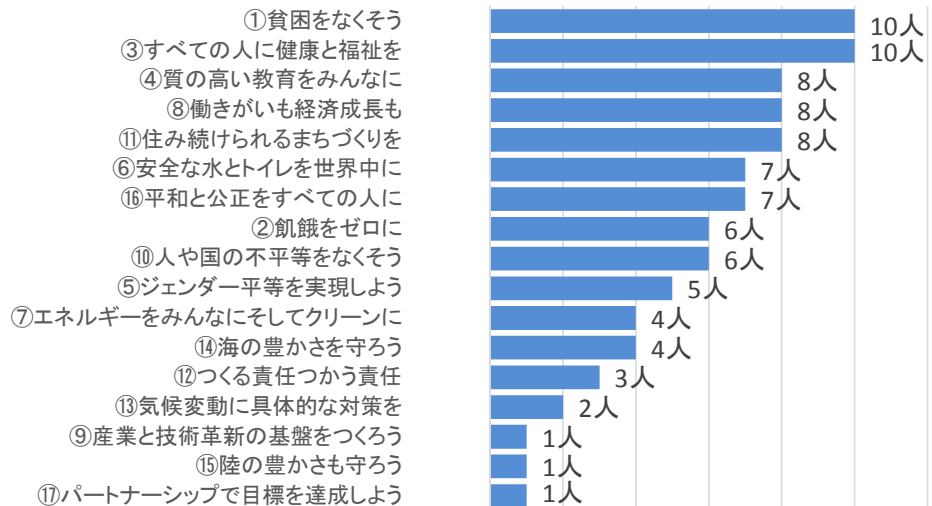
計 1677

年代別

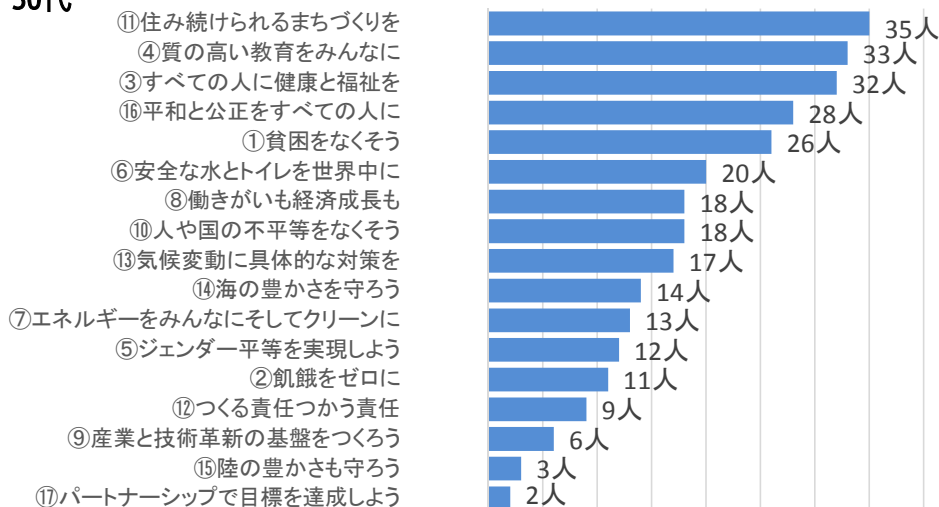
10代



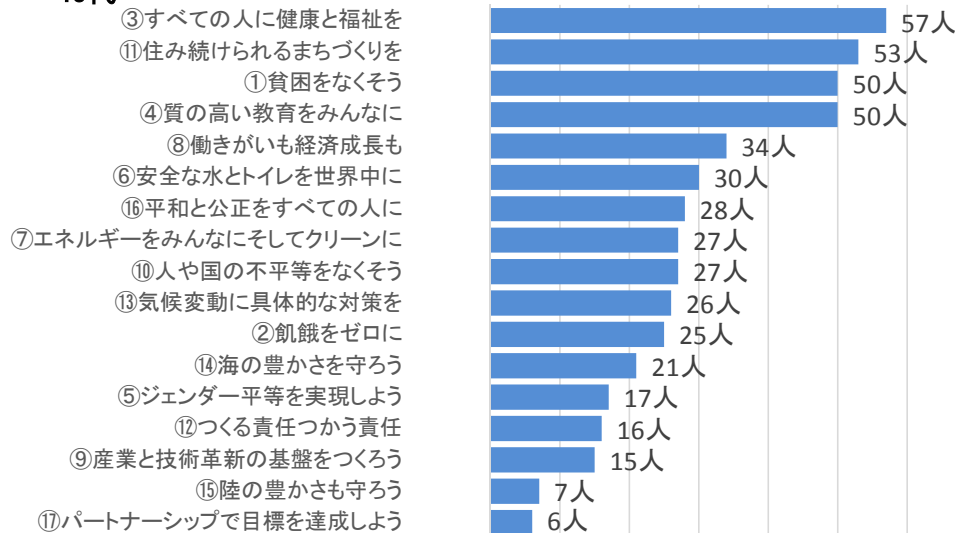
20代



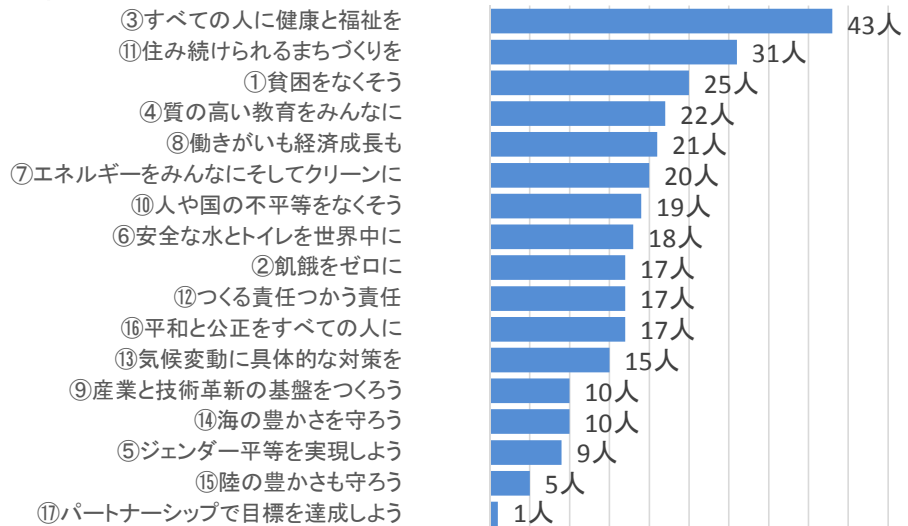
30代



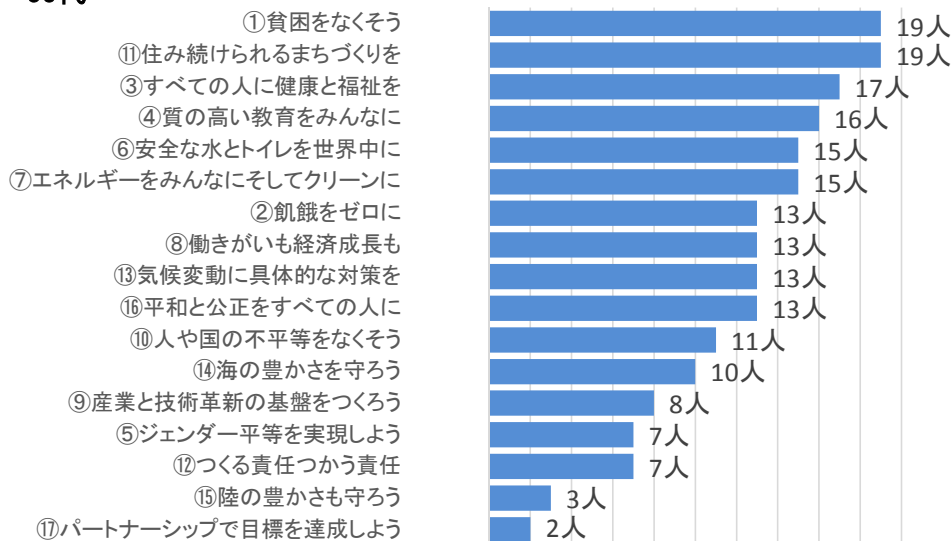
40代



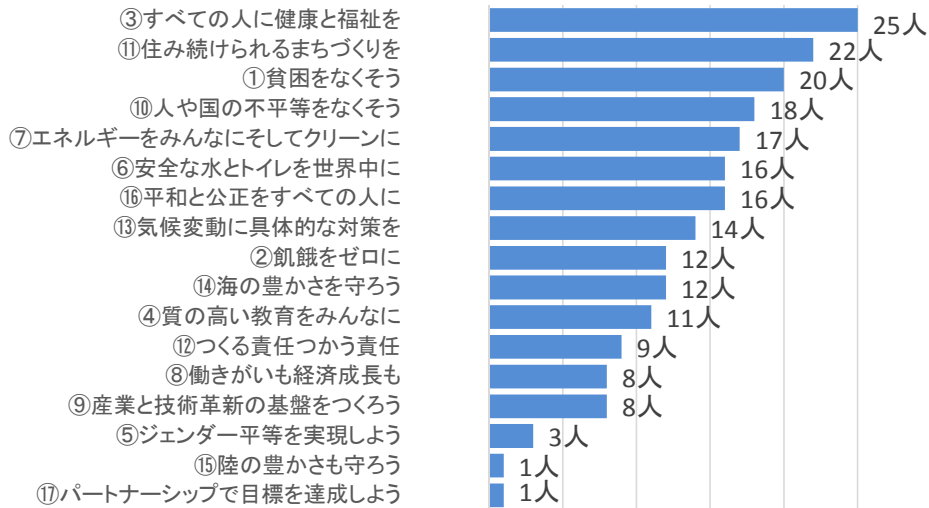
50代



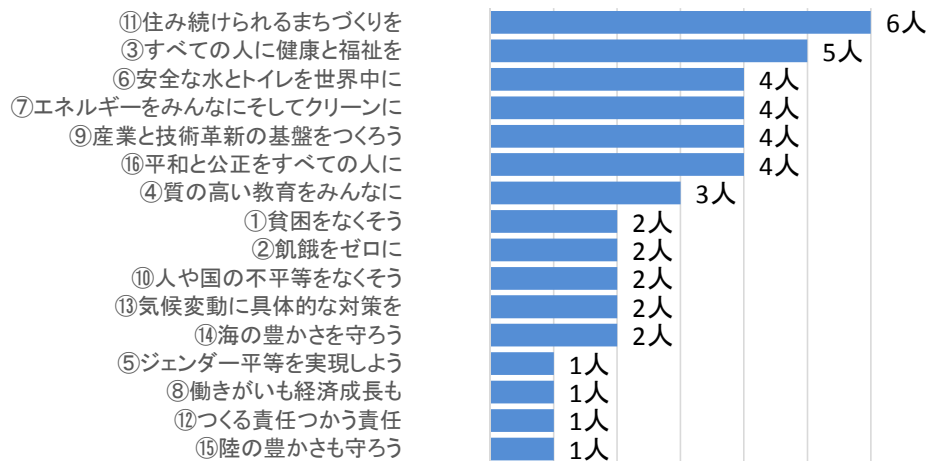
60代



70代

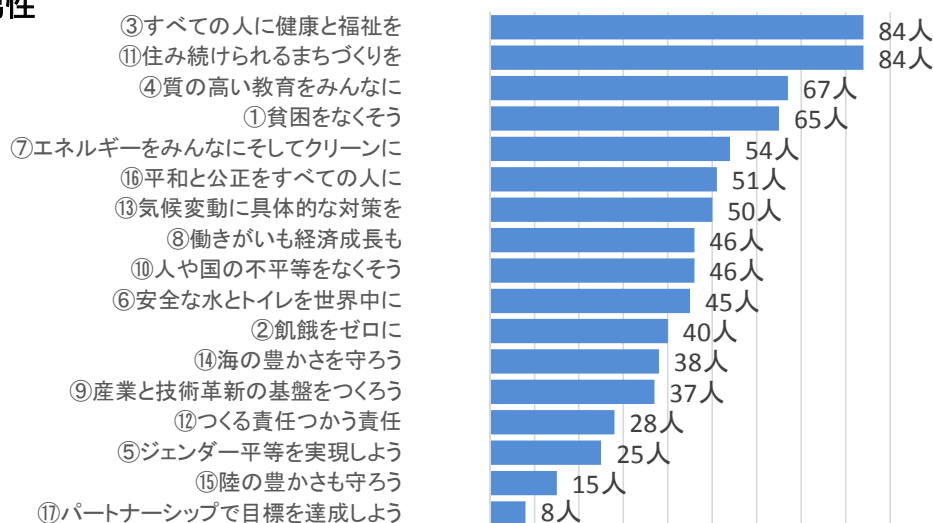


80代

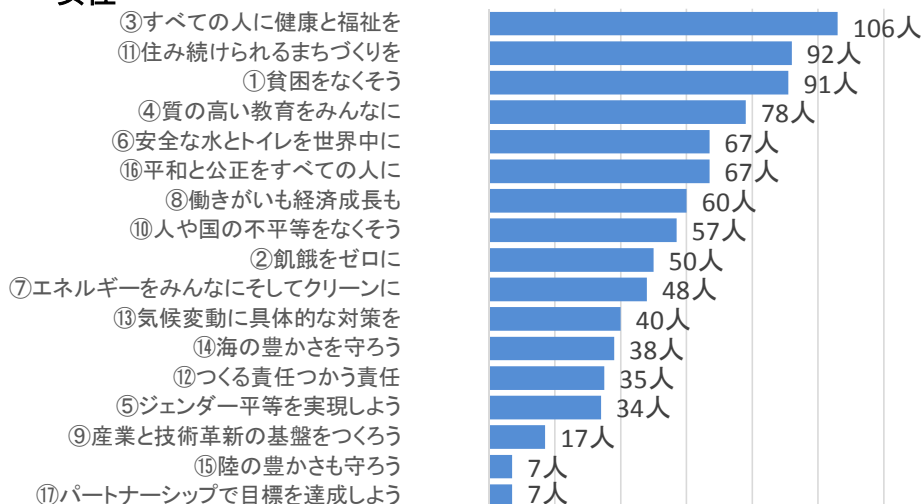


性別

男性



女性



※複数回答：1677を示す

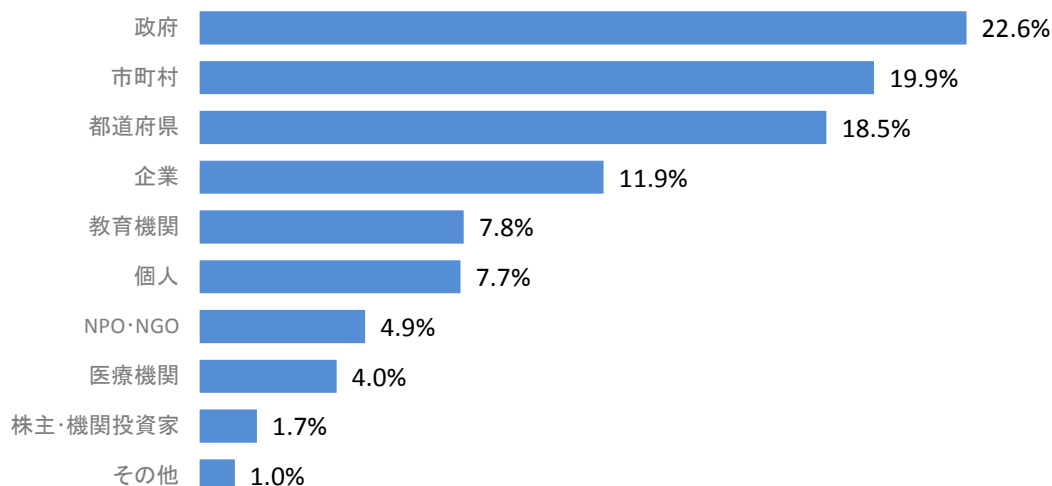
SDGsの17の目標のうち特に大切だと思う目標は、「すべての人に健康と福祉を」が11.3%で最も高く、次に「住み続けられるまちづくりを」が10.5%と回答。
年代別では、10代では「ジェンダー平等を実現しよう」の割合が高く、年代を重ねるにつれ「すべての人に健康と福祉を」の割合が高まる。
性別では、男性・女性ともに「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「質の高い教育をみんなに」への関心が高い。

第2章 SDGsに関する取り組みについて

問8 SDGsの達成に向けて、誰が主に行動したほうが良いと思いますか？ (1つ選択)

(回答者：337人)

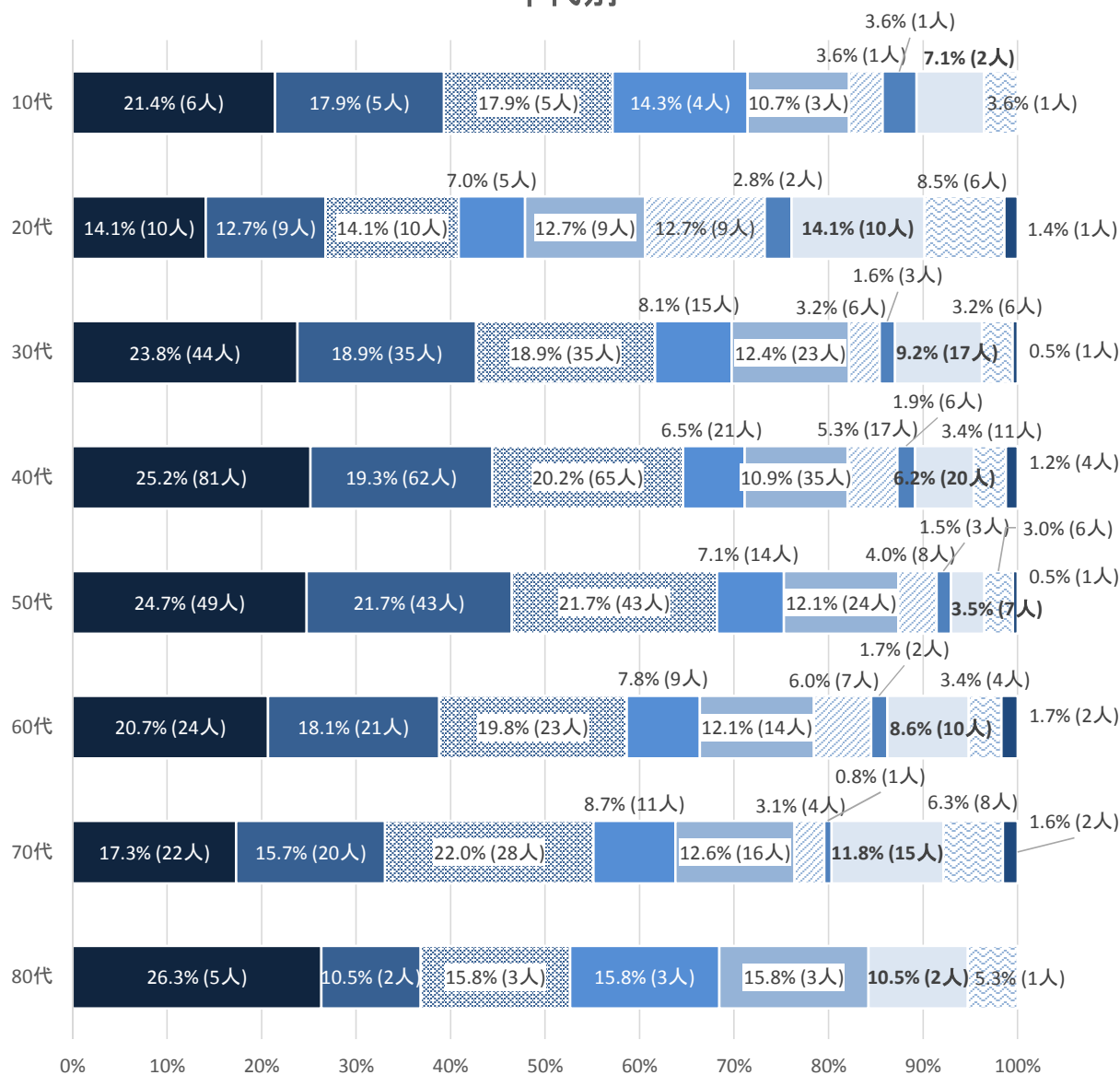
※回答数1066人のため、複数回答者多数と思われる



選択肢	回答数
政府	241
市町村	212
都道府県	197
企業	127
教育機関	83
個人	82
NPO・NGO	52
医療機関	43
株主・機関投資家	18
その他	11

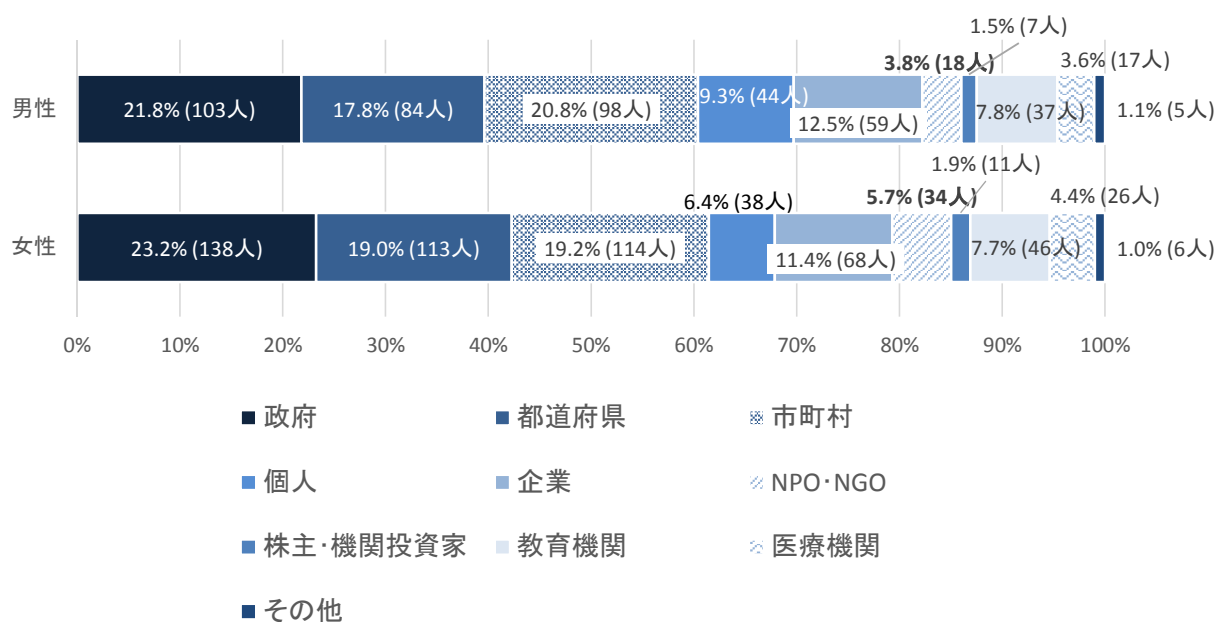
計 1066

年代別



- 政府
- 都道府県
- ※ 市町村
- 個人
- 企業
- 〰 NPO・NGO
- 株主・機関投資家
- 教育機関
- 〰 医療機関
- その他

性別



※複数回答：1066を示す

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ある一定の基準を超えたすべての大企業
- ・全ての人々が参加しなければ達成できないと思う。
- ・政府、企業などの枠にとらわれたら何も達成できないものなのかなと思いました。

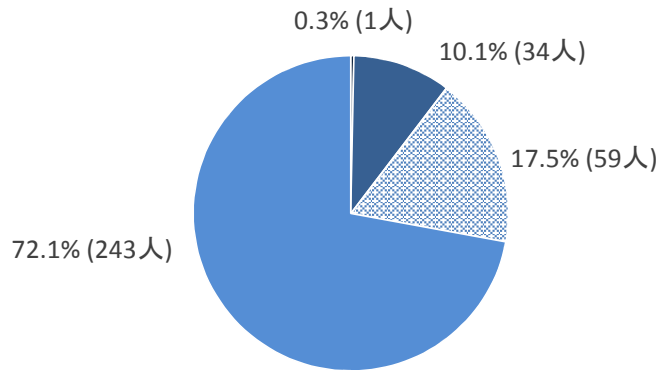
SDGsの達成に向けた主体では、回答者の22.6%が「政府」と回答し、次に19.9%の方が「市町村」と回答。

年代別では、10代では21.4%の方が「政府」と回答し、20代では「政府」「市町村」「教育機関」の割合が同じで、30代以降になると「政府」の割合が高まる。

性別では、「政府」で女性が男性より1.4ポイント高く、「都道府県」でも女性が男性より1.2ポイント高く、「市町村」では男性が女性よりも1.8ポイント高い。

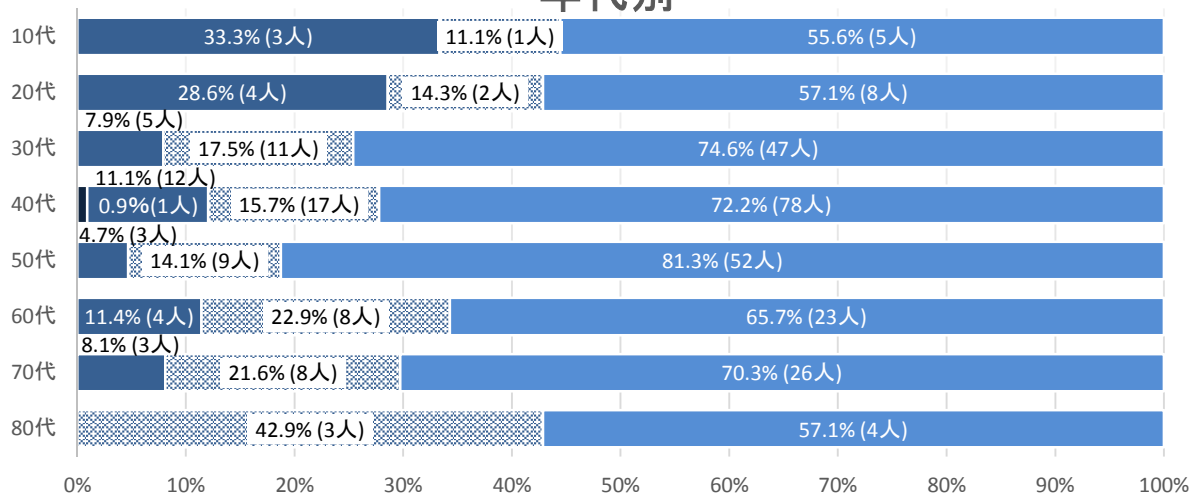
問 9 郡山市のSDGsへの取り組みについてはどう思いますか？（1つ選択）

（回答者：337人）



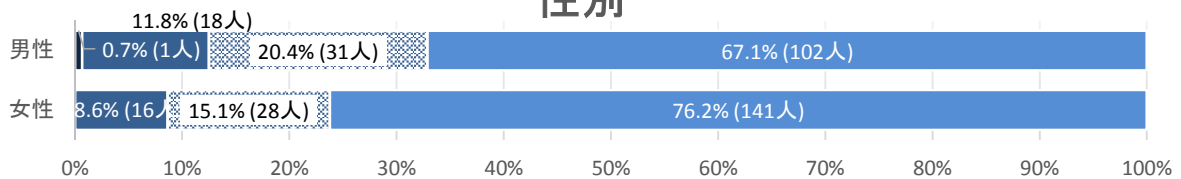
■ 十分に取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分に取り組んでいるとは言えない ■ 分からない

年代別



■ 十分に取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分に取り組んでいるとは言えない ■ 分からない

性別

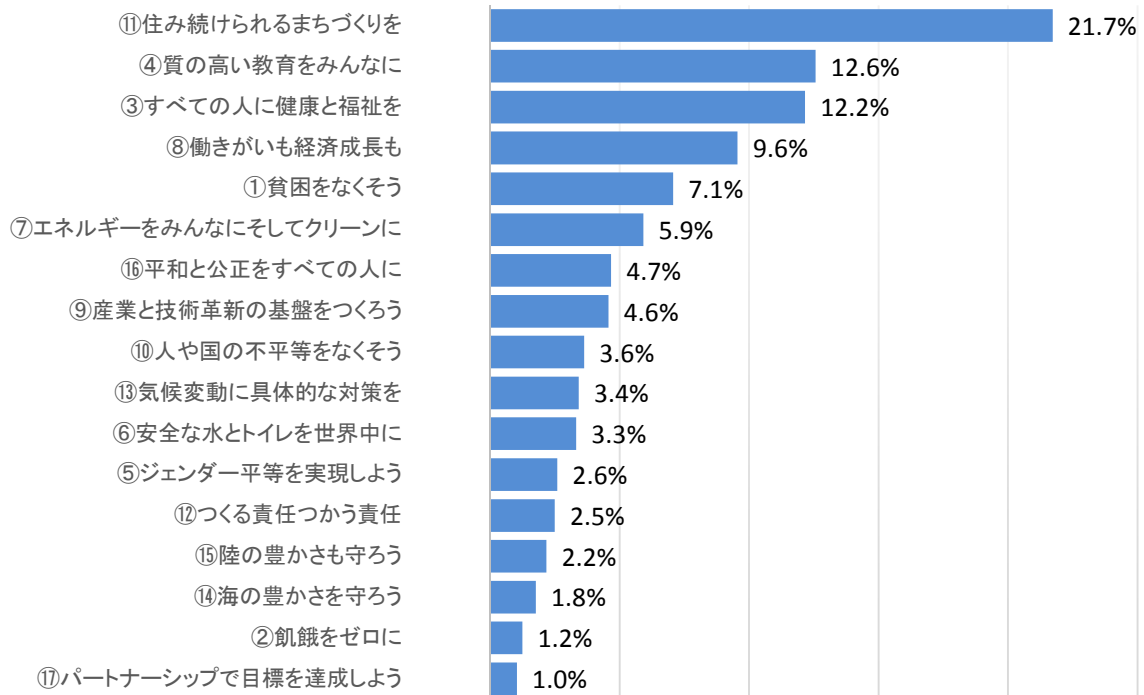


■ 十分に取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分に取り組んでいるとは言えない ■ 分からない

郡山市のSDGsへの取り組みについて、年代別では、10代で33.3%の方が「やや取り組んでいる」と回答し、20代でも28.6%の方が「やや取り組んでいる」と回答。性別では、「十分に取り組んでいる」「やや取り組んでいる」の回答割合が、男性が女性より3.9ポイント高い。

問 10 郡山市に特に取り組んで欲しいと思う目標はなんですか？（3つまで選択）

（回答者：337人）

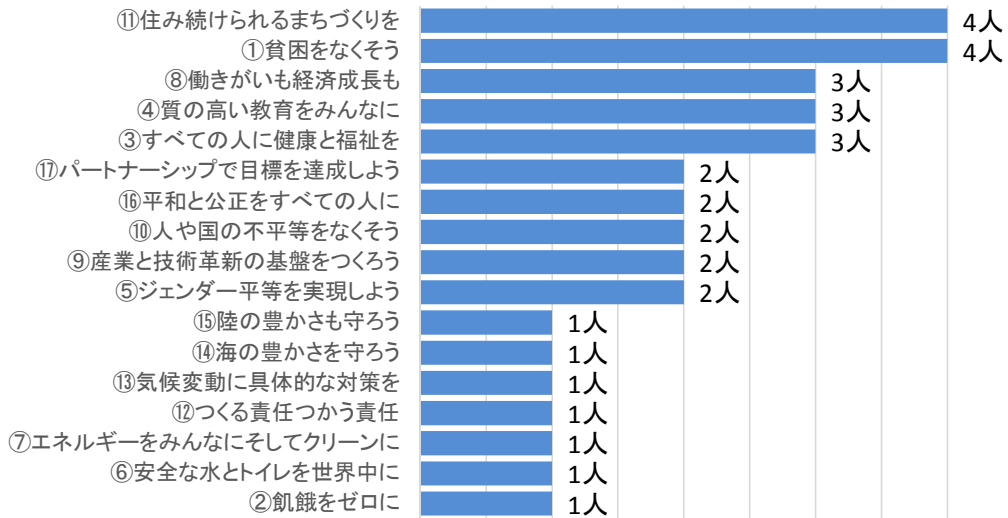


選択肢	回答数
⑪住み続けられるまちづくりを	209
④質の高い教育をみんなに	121
③すべての人に健康と福祉を	117
⑧働きがいも経済成長も	92
①貧困をなくそう	68
⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	57
⑯平和と公正をすべての人に	45
⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	44
⑩人や国の不平等をなくそう	35
⑬気候変動に具体的な対策を	33
⑥安全な水とトイレを世界中に	32
⑤ジェンダー平等を実現しよう	25
⑫つくる責任つかう責任	24
⑮陸の豊かさを守ろう	21
⑭海の豊かさを守ろう	17
②飢餓をゼロに	12
⑰パートナーシップで目標を達成しよう	10

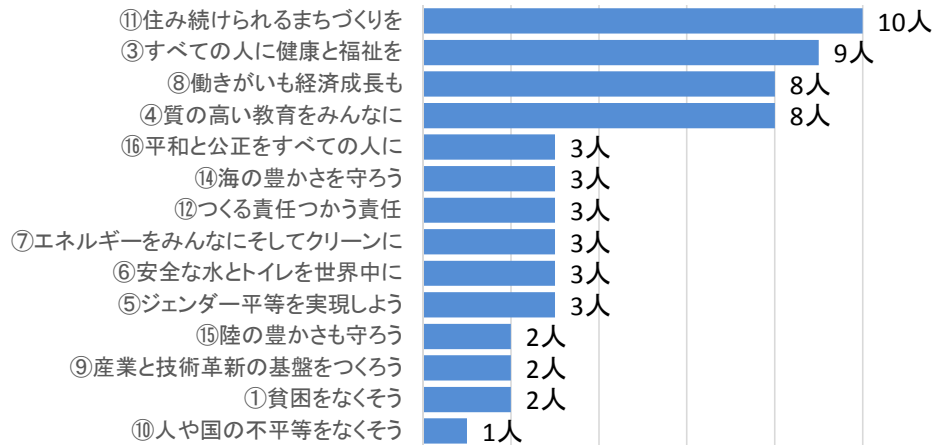
計 962

年代別

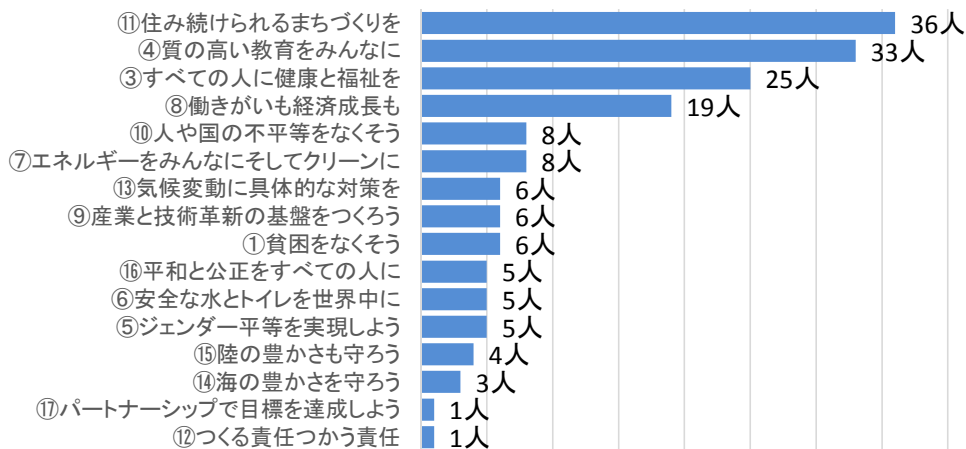
10代



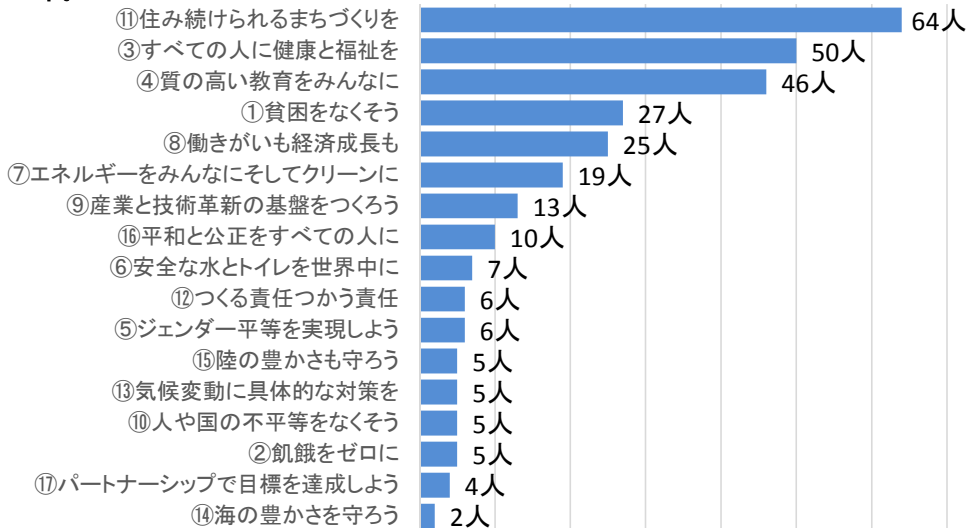
20代



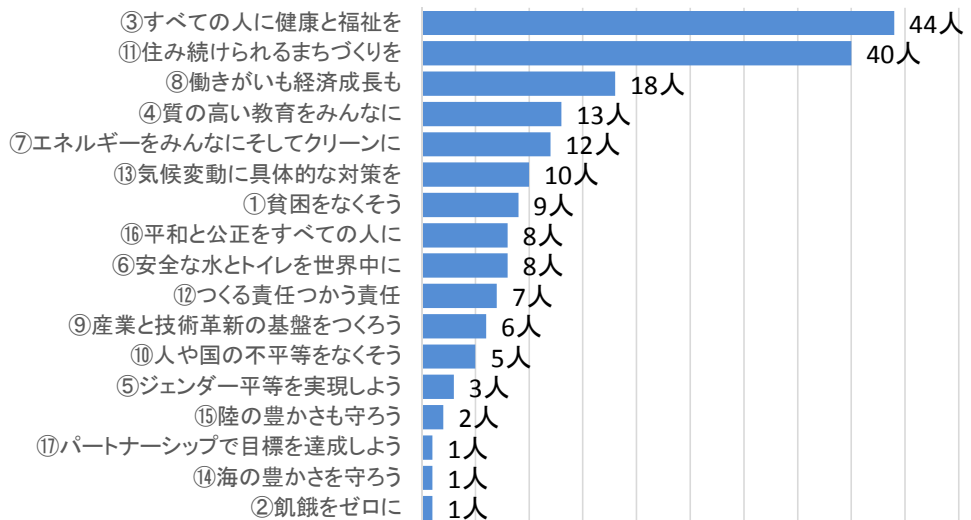
30代



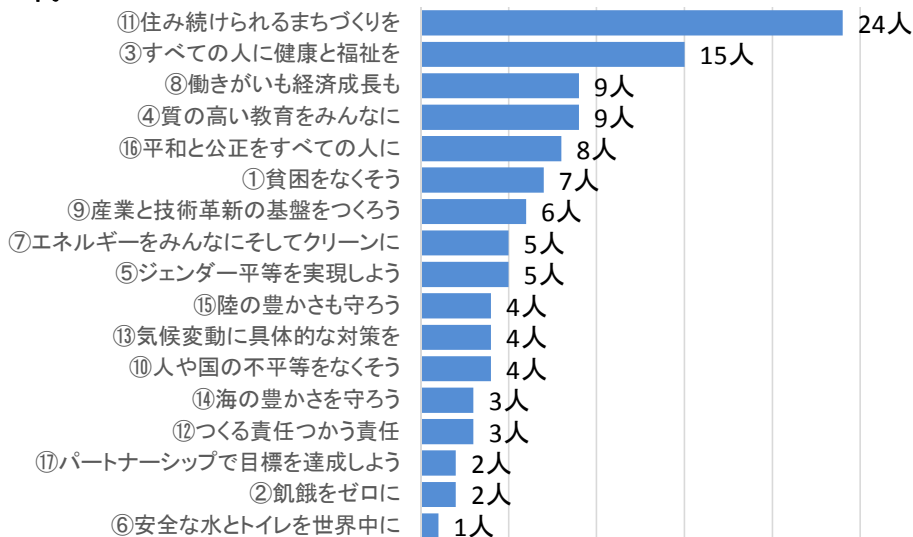
40代



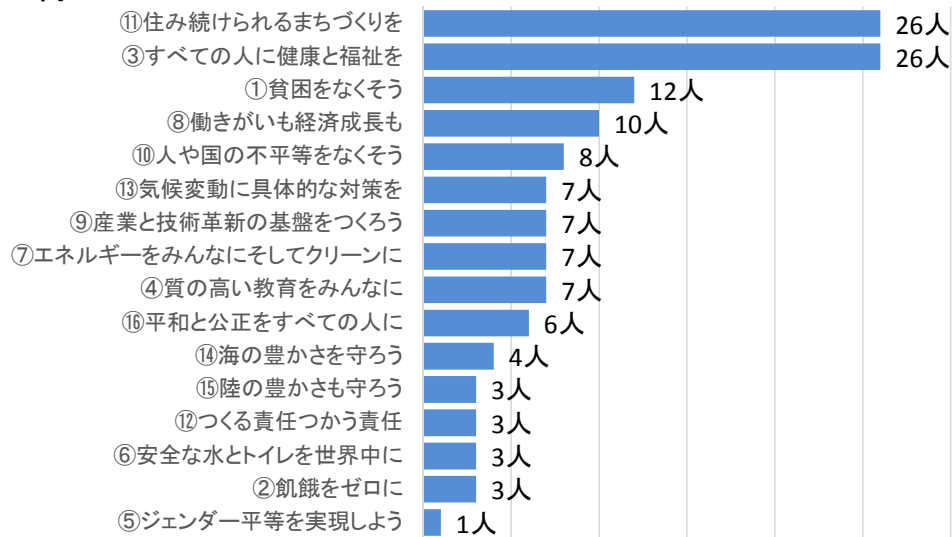
50代



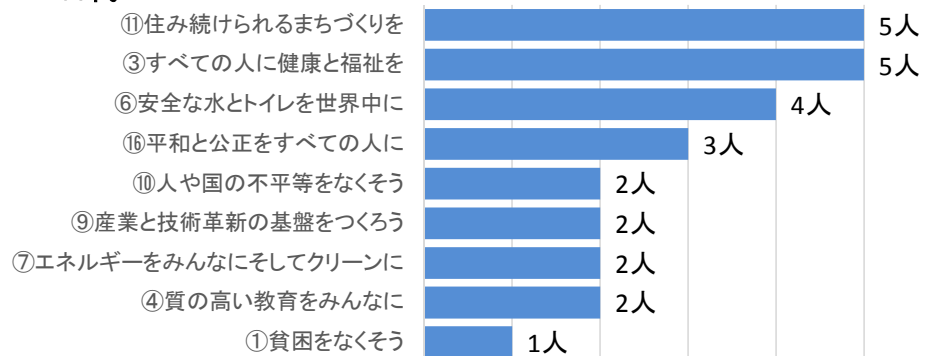
60代



70代

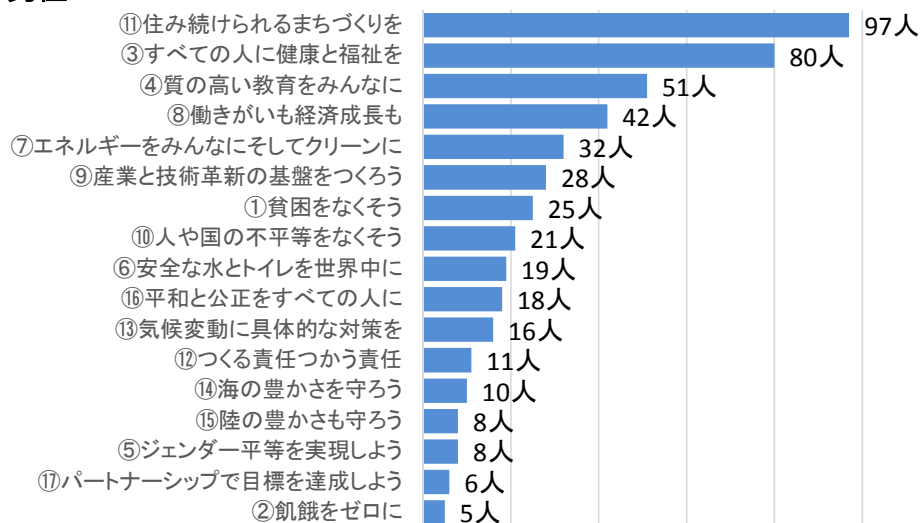


80代

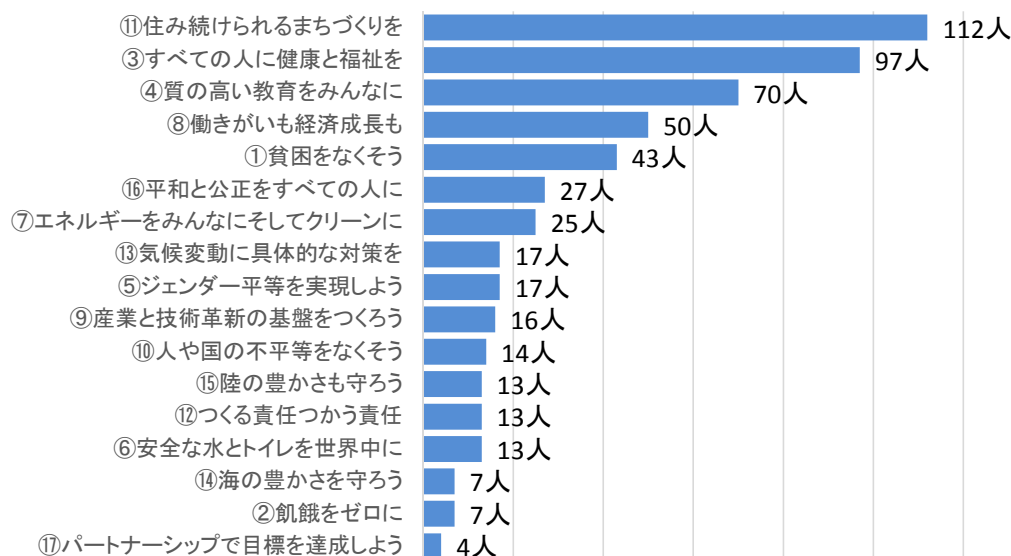


性別

男性



女性

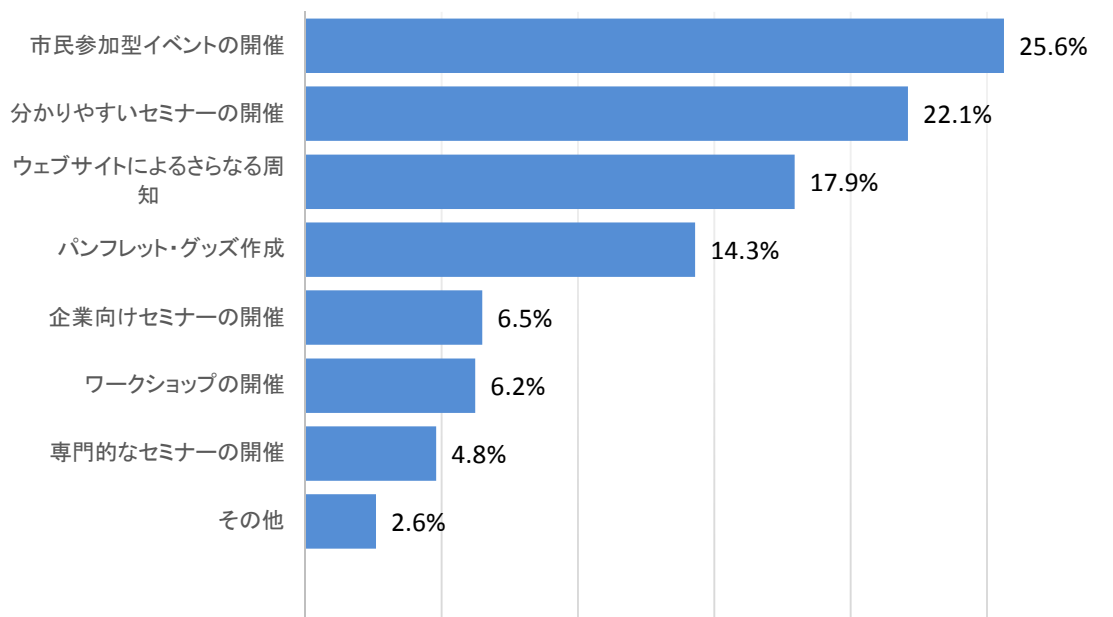


※複数回答：962を示す

郡山市に取り組んで欲しい目標は、「住み続けられるまちづくりを」が21.7%で最も高く、「質の高い教育を」が12.6%、「すべての人に健康と福祉を」が12.2%と回答。
 年代別では、50代を除き、「住み続けられるまちづくりを」の回答が最も高く、40代以降になると「すべての人に健康と福祉を」の回答が高まる。
 性別では、男性・女性ともに「住み続けられるまちづくりを」の回答が最も高く、次に「すべての人に健康と福祉を」、さらに「質の高い教育をみんなに」の回答が高い。

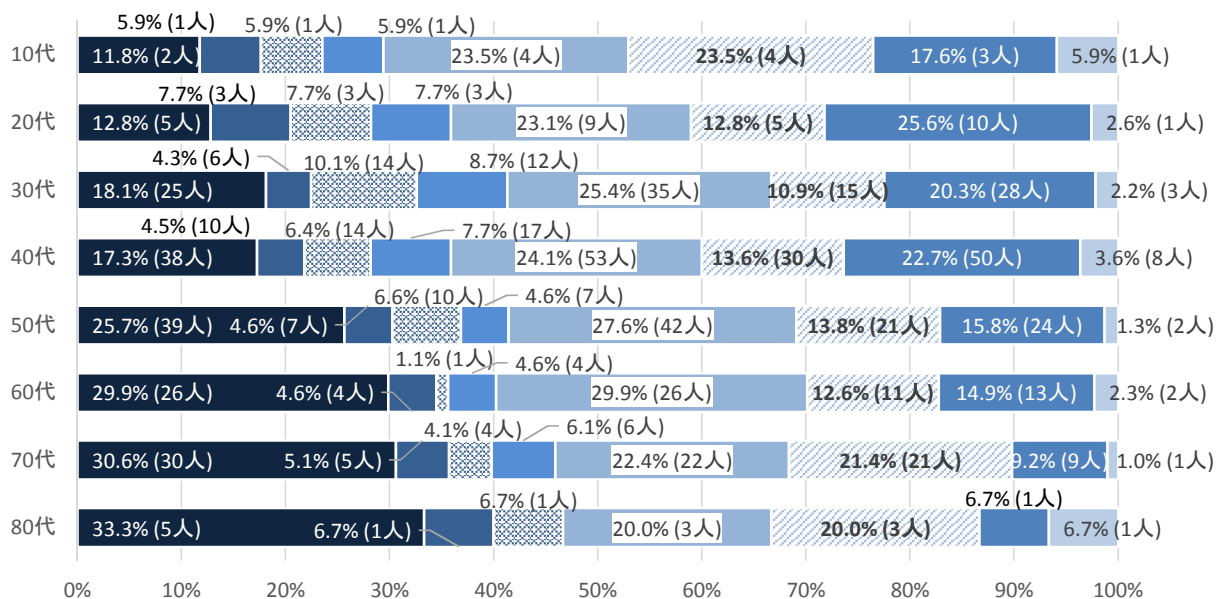
問 11 SDGsの達成に向けて、郡山市に特に取り組んで欲しいことは何ですか？
(3つまで選択)

(回答者：337人)



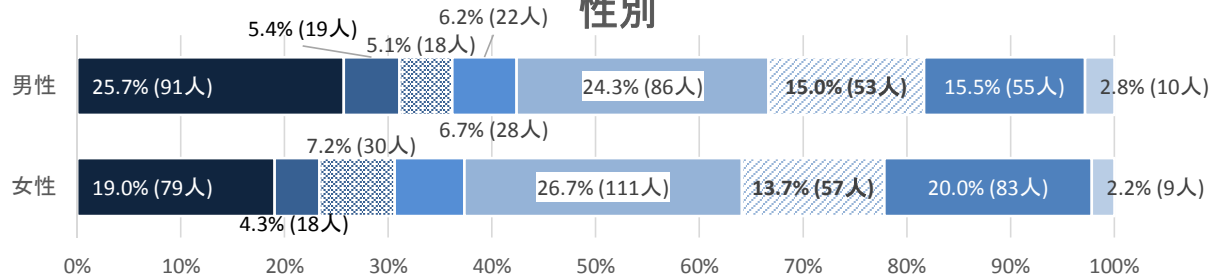
選択肢	回答数
市民参加型イベントの開催	197
分かりやすいセミナーの開催	170
ウェブサイトによるさらなる周知	138
パンフレット・グッズ作成	110
企業向けセミナーの開催	50
ワークショップの開催	48
専門的なセミナーの開催	37
その他	19
計	769

年代別



- 分かりやすいセミナーの開催
- 専門的なセミナーの開催
- ※ ワークショップの開催
- 企業向けセミナーの開催
- 市民参加型イベントの開催
- ※ パンフレット・グッズ作成
- ウェブサイトによるさらなる周知
- その他

性別



- 分かりやすいセミナーの開催
- 専門的なセミナーの開催
- ※ ワークショップの開催
- 企業向けセミナーの開催
- 市民参加型イベントの開催
- ※ パンフレット・グッズ作成
- ウェブサイトによるさらなる周知
- その他

※複数回答：769を示す

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ SNSによる啓発
- ・ 学校教育に導入

郡山市に取り組んで欲しいことは、「市民参加型イベントの開催」が25.6%で最も高く、「分かりやすいセミナーの開催」が22.1%、「ウェブサイトによるさらなる周知」が17.9%と回答。

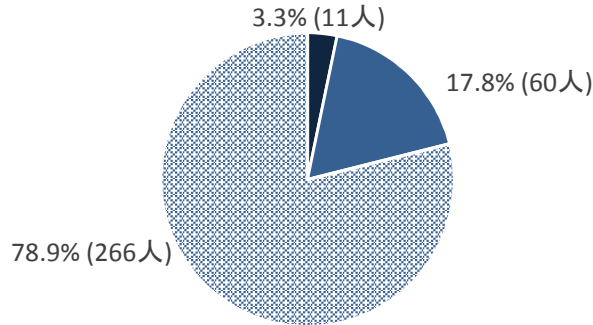
年代別では、各世代で「市民参加型イベントの開催」の回答が高い。

性別では、男性では「分かりやすいセミナーの開催」が25.7%で最も高く、女性では「市民参加型のイベントの開催」が26.7%で最も高い。

第3章 みんなの取り組みについて

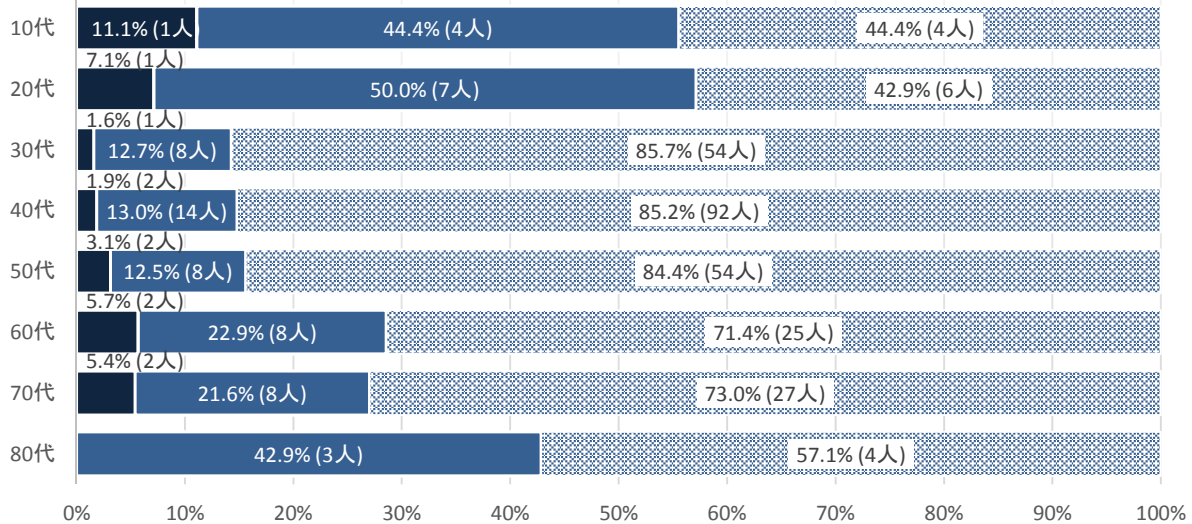
問 12 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか？（1つ選択）

（回答者：337人）



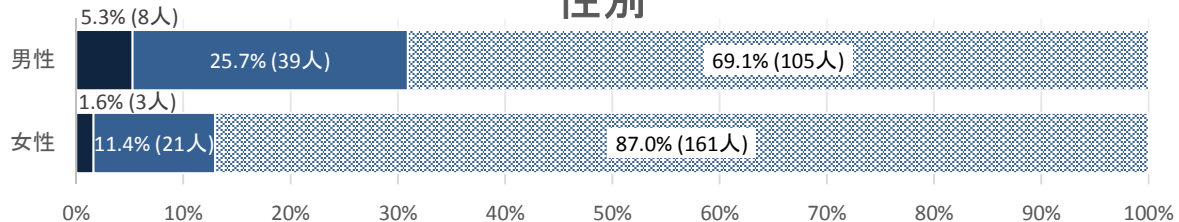
■ 意識して行動している ■ 何かのきっかけで意識して行動することがある ※ 特に意識して行動はしていない

年代別



■ 意識して行動している ■ 何かのきっかけで意識して行動することがある ※ 特に意識して行動はしていない

性別



■ 意識して行動している ■ 何かのきっかけで意識して行動することがある ※ 特に意識して行動はしていない

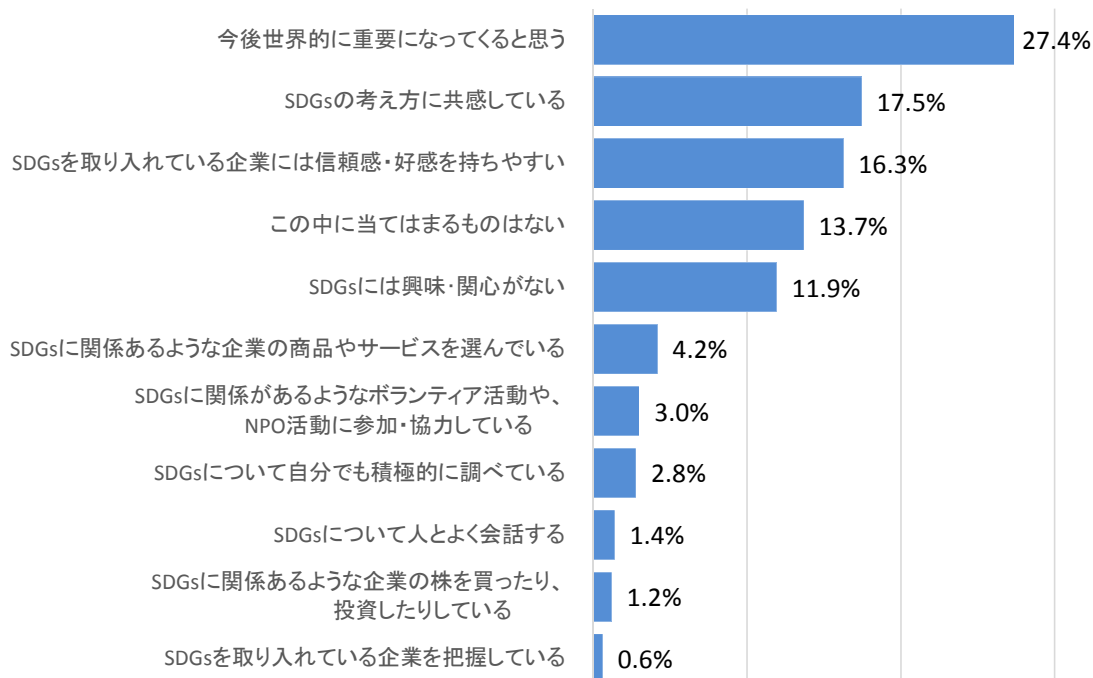
日常生活においてSDGsを意識して行動しているかについては、78.9%の方が「特に意識して行動はしていない」と回答。

年代別では、「意識して行動している」が10代で11.1%、20代で7.1%と若い世代の意識が高い。

性別では、「意識して行動している」で男性が女性より3.7ポイント高く、「何かのきっかけで意識して行動することがある」で男性が女性より14.3ポイント高い。

問 13 あなたとSDGsの関わりについて、あてはまるものを選択してください。
(あてはまるもの全て選択)

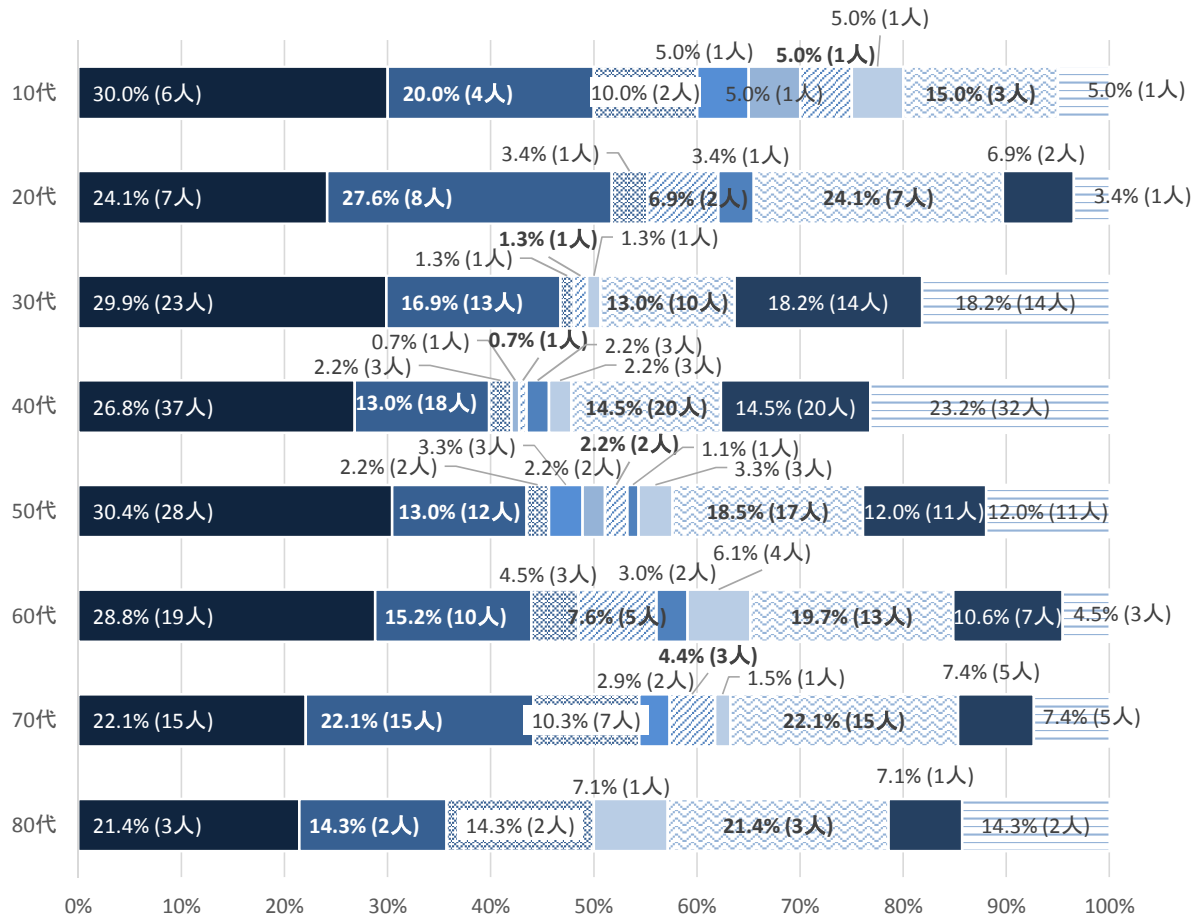
(回答者：337人)



選択肢	回答数
今後世界的に重要になってくると思う	138
SDGsの考え方に共感している	88
SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい	82
この中に当てはまるものはない	69
SDGsには興味・関心がない	60
SDGsに関係あるような企業の商品やサービスを選んでいる	21
SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している	15
SDGsについて自分でも積極的に調べている	14
SDGsについて人とよく会話する	7
SDGsに関係あるような企業の株を買ったり、投資したりしている	6
SDGsを取り入れている企業を把握している	4

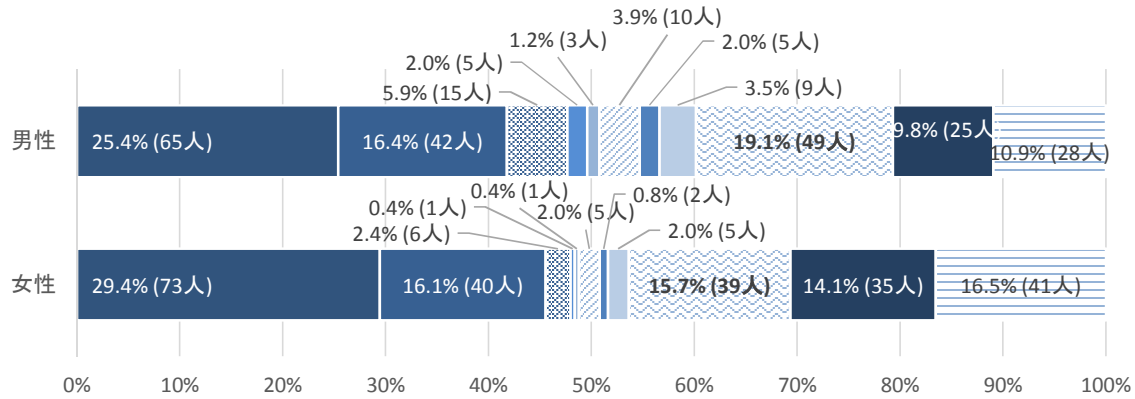
計 504

年代別



- 今後世界的に重要になってくると思う
- SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- ※ SDGsに関係あるような企業の商品やサービスを選んでいる
- SDGsに関係あるような企業の株を買ったり、投資したりしている
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- ※ SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- SDGsについて人とよく会話する
- SDGsについて自分でも積極的に調べている
- ※ SDGsの考え方に共感している
- SDGsには興味・関心がない
- この中に当てはまるものはない

性別



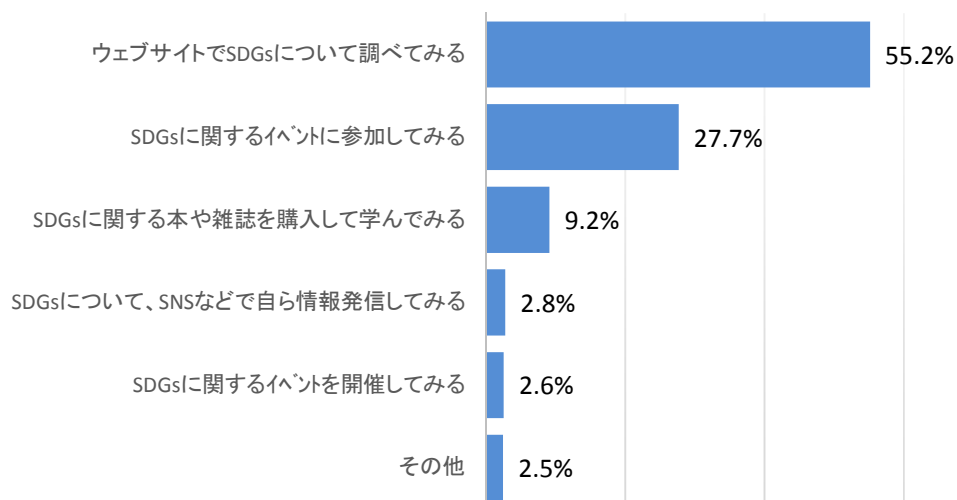
- 今後世界的に重要になってくると思う
- SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- ※ SDGsに関係あるような企業の商品やサービスを選んでいる
- SDGsに関係あるような企業の株を買ったり、投資したりしている
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- ※ SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- SDGsについて人とよく会話する
- SDGsについて自分でも積極的に調べている
- ◇ SDGsの考え方に共感している
- SDGsには興味・関心がない
- この中に当てはまるものはない

※複数回答：504を示す

SDGsとの関わりについて、10代から60代まで約3割の方が「今後世界的に重要になってくる」と回答。
 性別では、「今後世界的に重要になってくる」で男性が25.4%、女性が29.4%と約3割の方が、SDGsの考え方が世界的に重要になってくると回答。
 特に、「この中に当てはまるものはない」(13.7%)、「SDGsには興味・関心がない」(11.9%)を選んだ方々に対して、どのように対応するかが課題である。

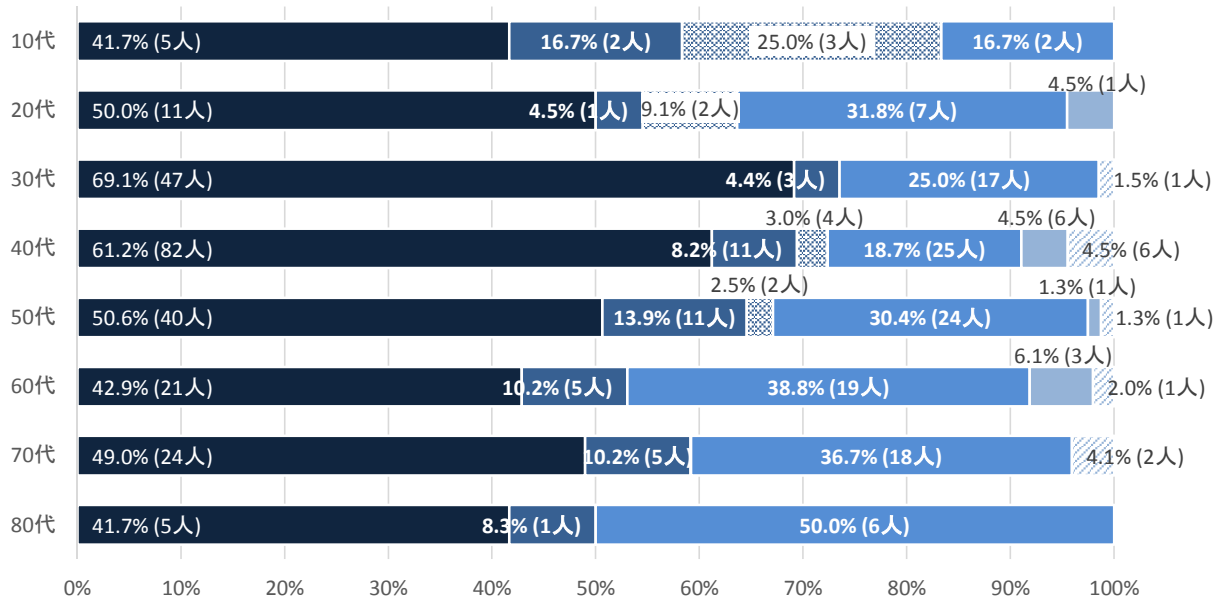
問 14 SDGsの達成に向けて取り組んでみたい事は何か？（複数選択可）

（回答者：337人）



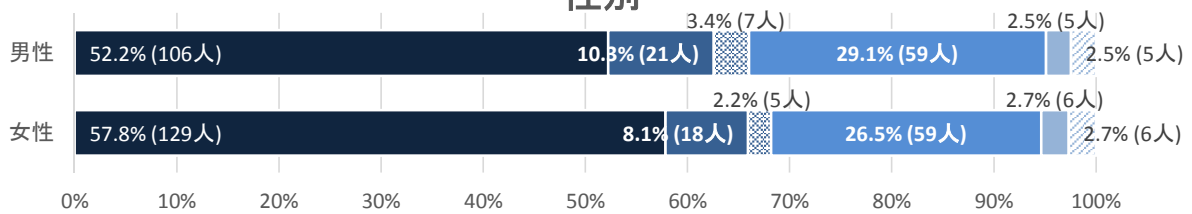
選択肢	回答数
ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる	235
SDGsに関するイベントに参加してみる	118
SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる	39
SDGsについて、SNSなどで自ら情報発信してみる	12
SDGsに関するイベントを開催してみる	11
その他	11
計	426

年代別



- ウェブサイトでSDGsについて調べてみる
- SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる
- ※ SDGsについて、SNSなどで自ら情報発信してみる
- SDGsに関するイベントに参加してみる
- SDGsに関するイベントを開催してみる
- ※ その他

性別



- ウェブサイトでSDGsについて調べてみる
- SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる
- ※ SDGsについて、SNSなどで自ら情報発信してみる
- SDGsに関するイベントに参加してみる
- SDGsに関するイベントを開催してみる
- ※ その他

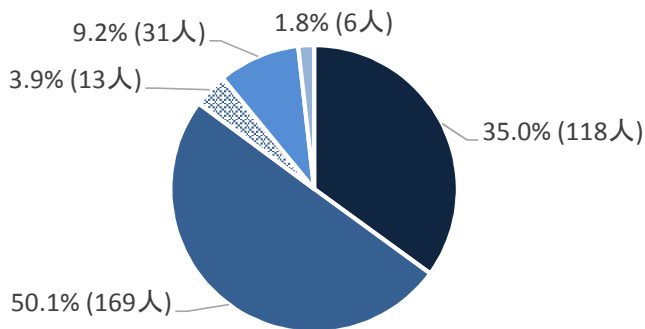
※複数回答：426を示す

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ どういう取り組みをしていいのかわからない。
- ・ 子ども達への力強い成長を手助けする食育からだ教室の創設
- ・ 自分にとってSDGsの理解が不十分
- ・ 実際に協働連携してみる

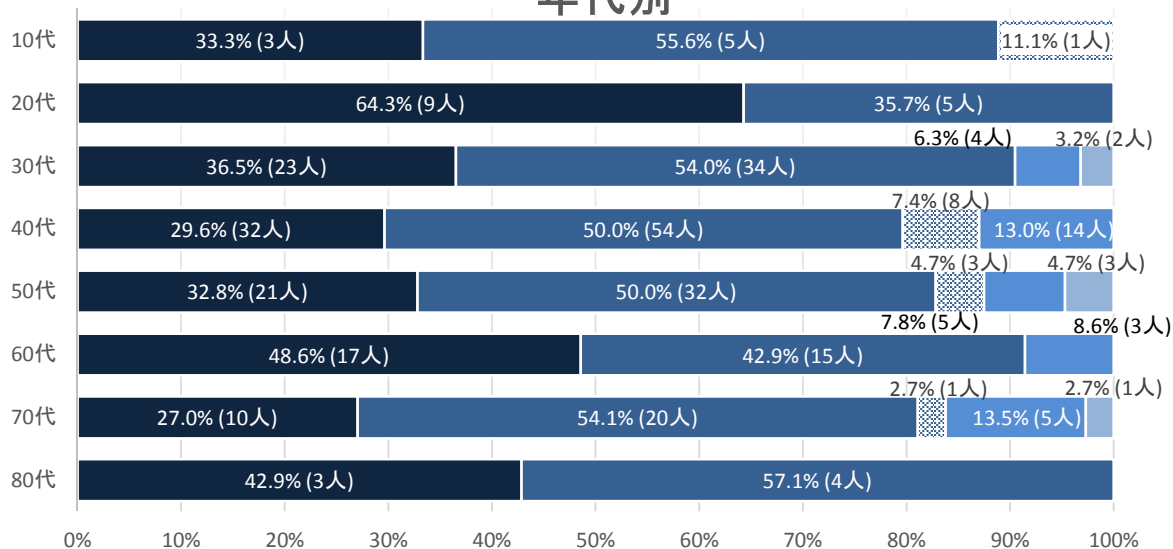
SDGsの達成に向けて取り組んでみたいことは、55.2%の方が「ウェブサイトですDGsについて調べてみる」と回答。
 年代別では、80代を除き各年代で「ウェブサイトですDGsについて調べてみる」が最も高く、80代では「SDGsに関するイベントに参加してみる」が最も高い。
 性別では、男性・女性ともに「ウェブサイトですDGsについて調べてみる」が最も高い。

問 15 SDGs についての学校での取り組みについて (1つ選択)
 (回答者: 337人)



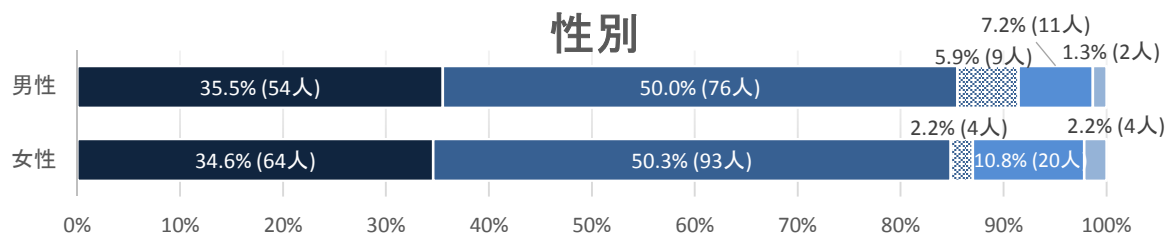
- 学校で積極的に教えてほしい
- 学校で概要程度は教えてほしい
- ※ 学校では教えなくて良い
- 先生向けのSDGsセミナーを開催してほしい
- その他

年代別



- 学校で積極的に教えてほしい
- 学校で概要程度は教えてほしい
- ※ 学校では教えなくて良い
- 先生向けのSDGsセミナーを開催してほしい
- その他

性別



- 学校で積極的に教えてほしい
- 学校で概要程度は教えてほしい
- ※ 学校では教えなくて良い
- 先生向けのSDGsセミナーを開催してほしい
- その他

※337人の回答状況

※「その他」を選択した方の主な意見

- SDGsに関して今はわからない為、どうしていいかわからない。
- 専門的知識を有する外部専門講師に教えてもらいたい
- 国や県等の公共機関でやれば？学校でこれ以上の余計なものは無理では？

SDGsについての学校での取り組みについて、「学校で積極的に教えてほしい」が35%、「学校で概要程度は教えてほしい」が50.1%と回答。

年代別では、20代で「学校で積極的に教えてほしい」が64.3%と各年代の中で最も高い。

性別では、「学校で概要程度は教えてほしい」で男性が女性より0.9ポイント高く、「学校で積極的に教えてほしい」で女性が男性より0.3ポイント高い。

問 16 その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

(回答者：136人)

SDGsの認識について

- ・初めて聞く言葉でした。これをきっかけに、これからは勉強したいと思います。(40代・女性)
- ・今回の課題は、初めて聞くものでよく分かりませんでした。私のように知らない人が多いと思いますので、今後まず、「SDGs」についての、アナウンスが必要かと思います。(50代・男性)

SDGsのためにやれること、必要なこと

- ・SDGsは、これから世界的に取り組む必要があり、市も積極的に取り組み、1人でも多くの人に周知する必要があると思う。(20代・男性)
- ・まずは周知の為の広報や、具体的なイベントの企画が必要だと思います。(40代・男性)
- ・自治体、企業、市民、それぞれが共通言語として、SDGsを捉えてつながっていけると、新しい発想や取り組みができるのかなと感じています。職場でもSDGsの学習会をやりたいです。(40代・男性)
- ・新聞等で言葉は見かけますが、説明が難しく分かりづらいので敬遠してました。もっと分かりやすい言葉で、子どもでも取り組める内容で説明して欲しいです。(50代・女性)

SDGsの周知方法について

- ・若者がこれを知っていた方がいいと思います。Twitterの広告やインスタの広告(ストーリー&投稿どちらも)を利用して広めるのが一番若者の目に留まると思います。(10代・女性)
- ・新聞は毎日、広報も毎月、フェイスブックもほぼ毎日見っていますが、初めて聞く言葉でした。(50代・女性)
- ・「SDGs」といった頭文字の略号を使うこと自体、理解を深める姿勢でない。せめてカッコ付きで、日本語で理解できる副題を添えるのが当然(例えば幼児用の本は漢字にフリガナのあるものを選ぶのと同様の配慮は常識だと思う)。(70代・女性)

その他

- ・世界的に必要な考え方や取り組みと、今の日本において市町村単位に必要な考え方や取り組みとは、分けて考えてもいいと思います。市町村単位で世界的規模のものに取り組むことは難しい。ただ、学校、特に初等教育において、分かりやすく伝えることは重要かつ可能だと思います。(40代・女性)
- ・SDGs国連で決めた用語だが日本人にもっと分かり易い表現にできないものか。goalsについても、世界の現状からすると理解できるが、17は総花的であり、日本としてどの分野で、世界をリードするか、ゴールを絞った方が良い。(70代・男性)
- ・個人でも企業でも「わが利益」のみを追求し、他者を顧みないか、他者を排撃する風潮が蔓延しています。このような社会のままではこの運動は真の成果は上げられません。(70代・男性)